

全国農村読書調査のあゆみ

(2013 ▶▶▶ 2023)

一般社団法人 家の光協会

はじめに

本書は、2013（平成 25）年に実施した第 68 回から、2023（令和 5）年に実施した第 78 回までの、「全国農村読書調査」の結果をとりまとめたものである。

家の光協会では、戦後の農村文化の実態を把握するために、1946（昭和 21）年に内閣の指導と協力を得て「農村の読書に関する調査」を実施した。以降、毎年、調査を継続実施し、1950（昭和 25）年の第 5 回調査から「全国農村読書調査」と調査名を変更した。また調査方法と内容も改善してきており、第 61 回調査より調査方法（年齢上限、調査地点数、母集団）を大幅に変更した。第 62 回より I T 時代に対応して設問に「インターネット上の読み物に関連する項目」を、第 63 回より「ラジオの聴取に関する項目」を追加した。さらに、第 64 回より「月刊誌、週刊誌、書籍を読む目的・理由」と「月刊誌の読書時間」などを、第 65 回より「電子書籍端末を利用した電子書籍の読書状況」を追加した。また、第 66 回より「書籍を読まなかった理由」を追加している。なお、第 67 回より「インターネット上の読み物に関連する項目」と「電子書籍端末を利用した電子書籍の読書状況」の設問を統合した。また、2021（令和 3）年の第 76 回調査のみ、「新型コロナウイルス感染症が流行する以前の生活」と「現在の（コロナ禍での）生活」とを比較し、読書時間等を問う設問を追加している。

なお、2020（令和 2）年 4 月の新型コロナウイルス感染症の流行に伴う緊急事態宣言と、それ以降の社会情勢を鑑み、2020 年の第 75 回調査から調査方法および標本数を大きく変更している。変更点は次のとおりである。

- ① 第 74 回調査までは調査員による訪問留置・訪問回収法で調査を実施していたが、対象者との直接の接触を避けるため、第 75 回調査以降は郵送配布・郵送回収法で実施した。
- ② 調査方法の変更による回収数の低下に対応するため、第 74 回調査までは標本数を 1,200 人としていたが、第 75 回調査では標本数を 1,800 人に変更した。その後第 76 回調査では 2,000 人、第 77 回調査では 1,966 人、第 78 回調査では 2,000 人としている。

2013（平成 25）年以降の各年の調査結果報告書は、本会 Web サイト（家の光公募サイト <https://www.ienohikari-koubo.com/research/>）に全文掲載しているので、ぜひ活用いただきたい。

最後に、本調査にご回答いただいたみなさまはじめ、関係各位に厚くお礼を申しあげる次第である。

2025（令和 7）年 3 月

一般社団法人 家の光協会

目次

はじめに.....	1
目次.....	2
第1章 「全国農村読書調査」の概要.....	4
「全国農村読書調査」概要の変遷.....	5
★調査の概要.....	5
★各回別の調査概要.....	6
★回収状況.....	7
★回答者の構成.....	7
★調査不能の内訳.....	10
第2章 「全国農村読書調査」結果の概要.....	11
総合読書率、雑誌読書率、書籍読書率.....	12
★総合読書率の変遷.....	12
★雑誌読書率の変遷.....	12
★書籍読書率の変遷.....	13
★総合読書率・雑誌読書率・書籍読書率の経年比較.....	14
月刊誌についての変遷.....	15
★月刊誌読書率の推移.....	15
★毎号読む月刊誌について.....	17
★ときどき読む月刊誌について.....	19
★同一誌を毎号読む（定期購読）月刊誌について.....	21
★月刊誌を読む目的・理由の推移.....	22
★月刊誌の読書時間の変化・増えた理由・減った理由の推移.....	23
★月刊誌の購入先または借覧先と入手方法の推移.....	26
週刊誌についての変遷.....	27
★週刊誌読書率の推移.....	27
★毎号読む週刊誌について.....	28
★ときどき読む週刊誌について.....	30
★同一誌を毎号読む（定期購読）週刊誌について.....	31

★週刊誌を読む目的・理由の推移	32
★週刊誌の購入先または借覧先と入手方法の推移	33
書籍についての変遷	34
★書籍読書率の推移	34
★半年間に読んだ書籍、好きな作家・著者の推移	35
★書籍を読む目的・理由の推移	38
★半年間に書籍を読まなかった理由の推移	39
★書籍の購入先または借覧先と入手方法の推移	40
★1 か月間に読んだ書籍の平均冊数の推移	41
1 か月当たりの本代の変遷	42
1 か月間における1日平均のメディア接触時間	44
★本の1日平均の読書時間の推移	45
★新聞の1日平均の閲読時間の推移	46
★テレビの1日平均の視聴時間の推移	47
★ラジオの1日平均の聴取時間の推移	48
★インターネットの1日平均の利用時間の推移	49
インターネット接続機器の利用、および電子書籍や電子雑誌の読書状況	50
★インターネット接続機器利用率、電子書籍や電子雑誌読書率の推移	50
★インターネット接続機器の利用内訳	52
★電子書籍や電子雑誌を「読んでいない」人の読書意向	53

第 1 章 「全国農村読書調査」の概要

「全国農村読書調査」概要の変遷

★調査の概要

1. 調査の目的

「農林業地域」の読書に関する状況を調査し、その結果を広く活用してもらうため。

2. 調査項目

調査項目は表 1-1 の通り。

表 1-1 調査項目

①月刊誌		②週刊誌	③書 籍
読書状況		読書状況	読書状況
毎号読んでいる月刊誌の有無		毎号読んでいる週刊誌の有無	書籍の入手先・入手方法
毎号読んでいる月刊誌名		毎号読んでいる週刊誌名	書籍を読む目的・理由
ときどき読んでいる月刊誌名		ときどき読んでいる週刊誌名	書籍を読まなかった理由
月刊誌の入手先・入手方法		週刊誌の入手先・入手方法	—
月刊誌を読む目的・理由		週刊誌を読む目的・理由	—
月刊誌読書時間の増減		—	—
読書時間が増えた理由		—	—
読書時間が減った理由		—	—
家族の定期購読誌の有無		—	—
定期購読誌名		—	—
④本（月刊誌・週刊誌・書籍）の購入金額			
⑤好きな作家・著者			
⑥インターネット読書		⑦新 聞	⑧マスメディア接触時間
パソコン、携帯電話、電子書籍端末などの利用状況		定期購読紙の有無	本
電子書籍、電子雑誌の読書状況		定期購読紙名	新聞
電子書籍、電子雑誌の今後の読書意向		—	テレビ
—		—	ラジオ
—		—	インターネット
フェイス・シート			
回答者			回答者世帯
性別	年齢別	職業別	専業農家・兼業農家・非農家別 農協の正組合員・准組合員・非組合員別

※本調査では、月刊誌、週刊誌、書籍を次のとおり定義した。

月刊誌＝月1回刊、隔週刊、月2回刊、隔月刊、旬刊、季刊などの定期刊行物

週刊誌＝週1回発行の定期刊行物

書籍＝文庫本、新書本、全集などコミックスを含む単行本や文庫本で、年鑑、年報、教科書、学習参考書、辞・事典は含まない

3. 調査対象

- (1) 母集団 全国16歳以上79歳以下の男女^{※1}
- (2) 地点抽出方法 国勢調査区（農林業地区）から60地点^{※2}を無作為抽出
- (3) 対象者抽出方法 住民基本台帳から無作為抽出

※1 2018年（平成30年）の第73回調査では、2018年7月初旬に発生した西日本豪雨被害の影響を考慮し、広島県を調査地点から除外した。

※2 2022年（令和4年）の第77回調査のみ、59地点となっている。

★各回別の調査概要

第68回～第78回別の、概要の変遷は表1-2の通り。

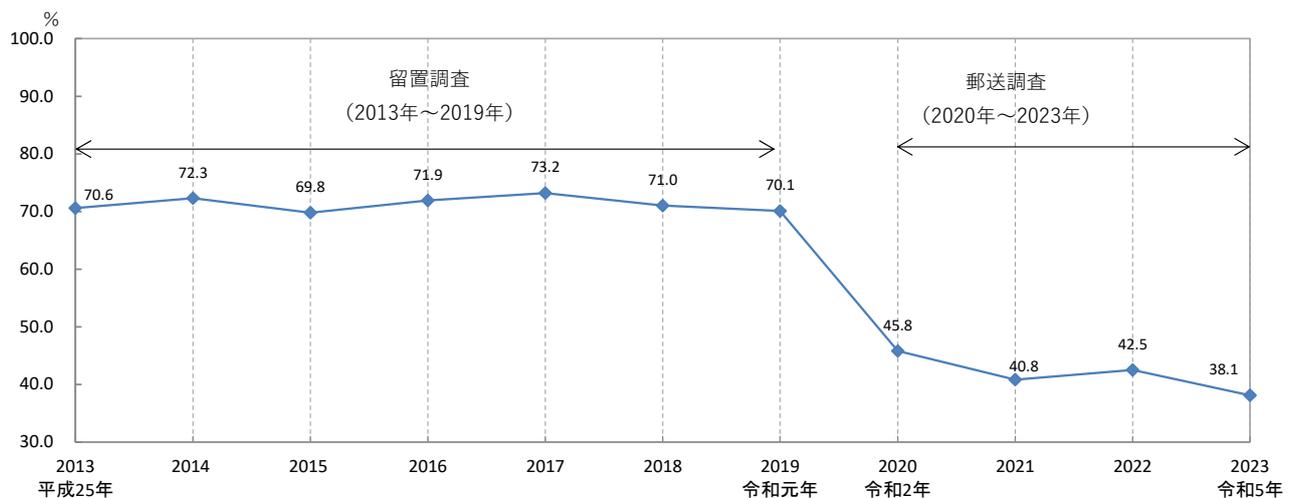
表1-2 調査概要の変遷

回	調査時期	調査方法	標本数	回収数	回収率
68回	2013年7月11日～7月28日	調査員による 訪問留置・ 訪問回収法	1,200	847	70.6%
69回	2014年7月10日～7月27日			867	72.3%
70回	2015年7月9日～7月26日			838	69.8%
71回	2016年7月14日～7月31日			863	71.9%
72回	2017年7月13日～7月30日			878	73.2%
73回	2018年7月12日～8月12日			852	71.0%
74回	2019年7月11日～7月29日			841	70.1%
75回	2020年9月23日～10月29日	郵送配布・ 郵送回収法	1,800	824	45.8%
76回	2021年7月31日～9月5日		2,000	816	40.8%
77回	2022年8月1日～9月4日		1,966	836	42.5%
78回	2023年8月1日～9月4日		2,000	761	38.1%

★回収状況

図1-1は2013年（第68回）から2023年（第78回）の回収率の推移を示している。2013年（第68回）から2019年（第74回）までは、調査員による訪問留置・訪問回収法により、毎年ほぼ同時期に調査が行われていた。この期間の回収率はおおむね71%前後で推移している。コロナ禍の影響を受け、2020年（第75回）からは郵送配布・郵送回収調査に切り替えた。一般的に留置法に比べ、郵送調査では回収率が低下することが知られており、本調査においても2020年の回収率は45.8%と急落した。その後の2021年（第76回）からはさらに低下し、2023年（第78回）調査では38.1%と過去最低となっている。

図1-1 回収率の推移（2013年～2023年）



★回答者の構成

次ページの表1-3に直近2023年（第78回）の調査での回答者の構成を示す。性別では女性が57.6%と男性（42.4%）より多い。年齢別構成では70～79歳が26.0%と最も多く、次いで60～69歳が25.9%、50～59歳が17.0%となっている。世帯別では非農家が52.3%と過半数を占めている。

回答者の構成について、男女別の推移を9ページの図1-2に示す。2013年から2023年の間は一貫して男性より女性の割合が高くなっているが、そのなかでも郵送調査初年度である2020年は女性が57.8%と、前年から7.7ポイント急増し、過去最高となった。その後の2021年、2022年では例年に近い比率となったが、2023年では再び57.6%となるなど、ここでも調査方法による若干の差異が見られた。

職業別構成の推移を農林業と給料生活で見たものを9ページの図1-3に示す。いずれの年も農業が18%前後、給料生活が44%前後となっており、調査方法による大きな差は見られない。

表 1-3 回答者の構成 2023 年（実数、カッコ内は構成比）

有効回収		全体	男性	女性
		761 (100.0%)	323 (42.4%)	438 (57.6%)
年齢別	16～19歳	23 (3.0%)	10 (3.1%)	13 (3.0%)
	20～29歳	45 (5.9%)	16 (5.0%)	29 (6.6%)
	30～39歳	66 (8.7%)	30 (9.3%)	36 (8.2%)
	40～49歳	103 (13.5%)	41 (12.7%)	62 (14.2%)
	50～59歳	129 (17.0%)	49 (15.2%)	80 (18.3%)
	60～69歳	197 (25.9%)	86 (26.6%)	111 (25.3%)
	70～79歳	198 (26.0%)	91 (28.2%)	107 (24.4%)
職業別	農業	124 (16.3%)	77 (23.8%)	47 (10.7%)
	給料生活	345 (45.3%)	142 (44.0%)	203 (46.3%)
	主婦	104 (13.7%)	0 (-)	104 (23.7%)
	自営業	54 (7.1%)	35 (10.8%)	19 (4.3%)
	学生	31 (4.1%)	12 (3.7%)	19 (4.3%)
	無職	93 (12.2%)	52 (16.1%)	41 (9.4%)
	その他	10 (1.3%)	5 (1.5%)	5 (1.1%)
世帯別	専業農家	106 (13.9%)	55 (17.0%)	51 (11.6%)
	第1種兼業農家 注1)	36 (4.7%)	15 (4.6%)	21 (4.8%)
	第2種兼業農家 注2)	206 (27.1%)	93 (28.8%)	113 (25.8%)
	非農家	398 (52.3%)	155 (48.0%)	243 (55.5%)
	不明	15 (2.0%)	5 (1.5%)	10 (2.3%)
JA（農協）組合員別	正組合員	247 (32.5%)	135 (41.8%)	112 (25.6%)
	准組合員	75 (9.9%)	33 (10.2%)	42 (9.6%)
	非組合員	276 (36.3%)	105 (32.5%)	171 (39.0%)
	わからない・不明	163 (21.4%)	50 (15.5%)	113 (25.8%)

注1)「第1種兼業農家」とは、農業以外で働いている同居家族がいるが、農業所得のほうが多い農家をいう。

注2)「第2種兼業農家」とは、逆に農業以外の所得のほうが多い農家をいう。

図 1 - 2 男女別回答者構成比の変遷

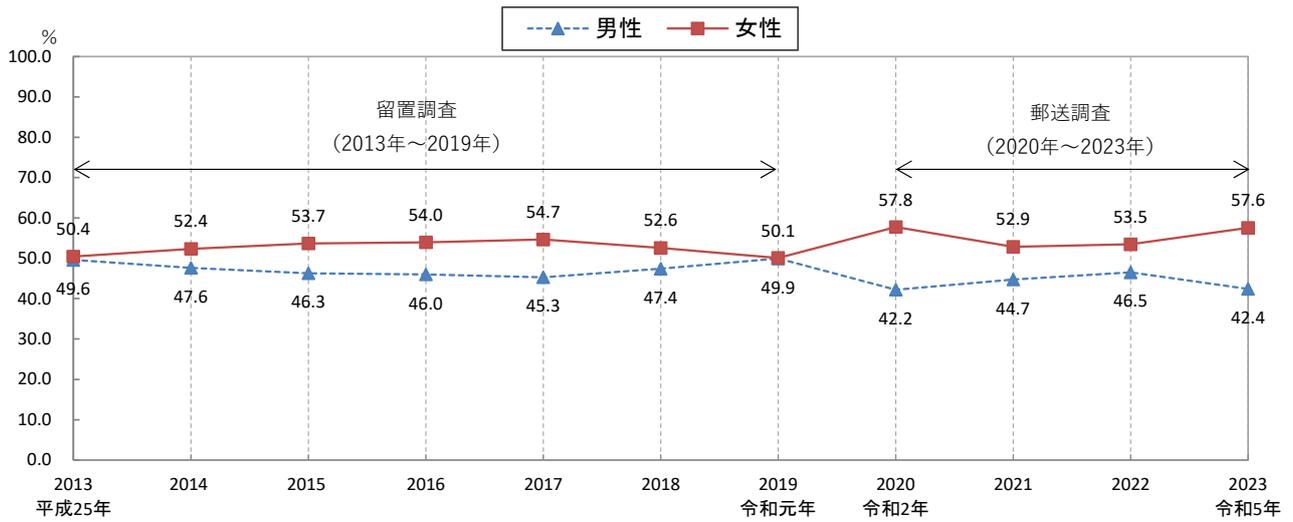
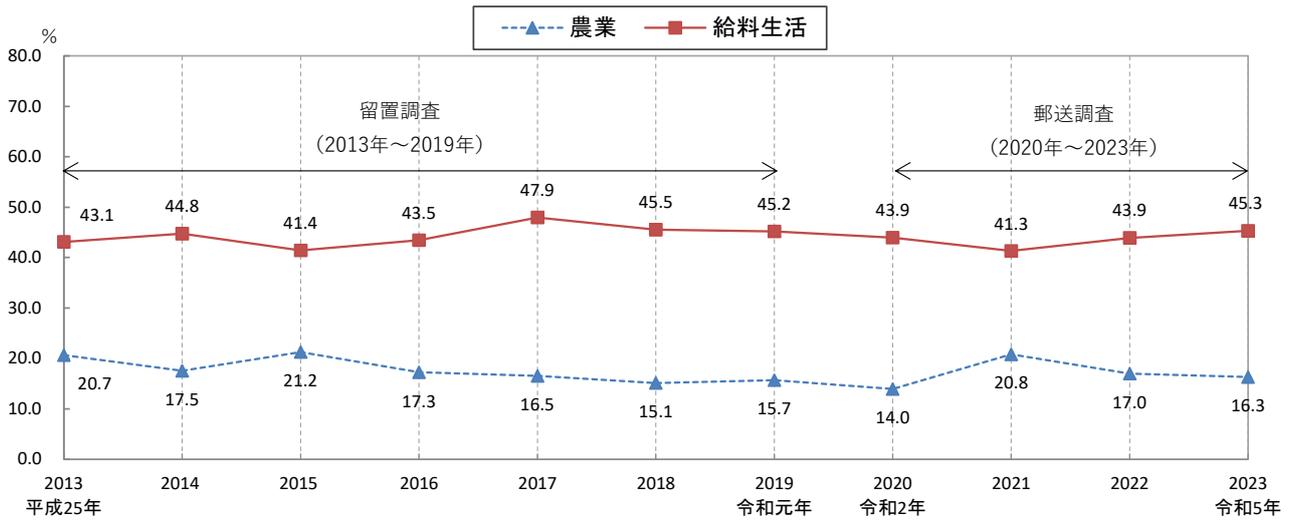


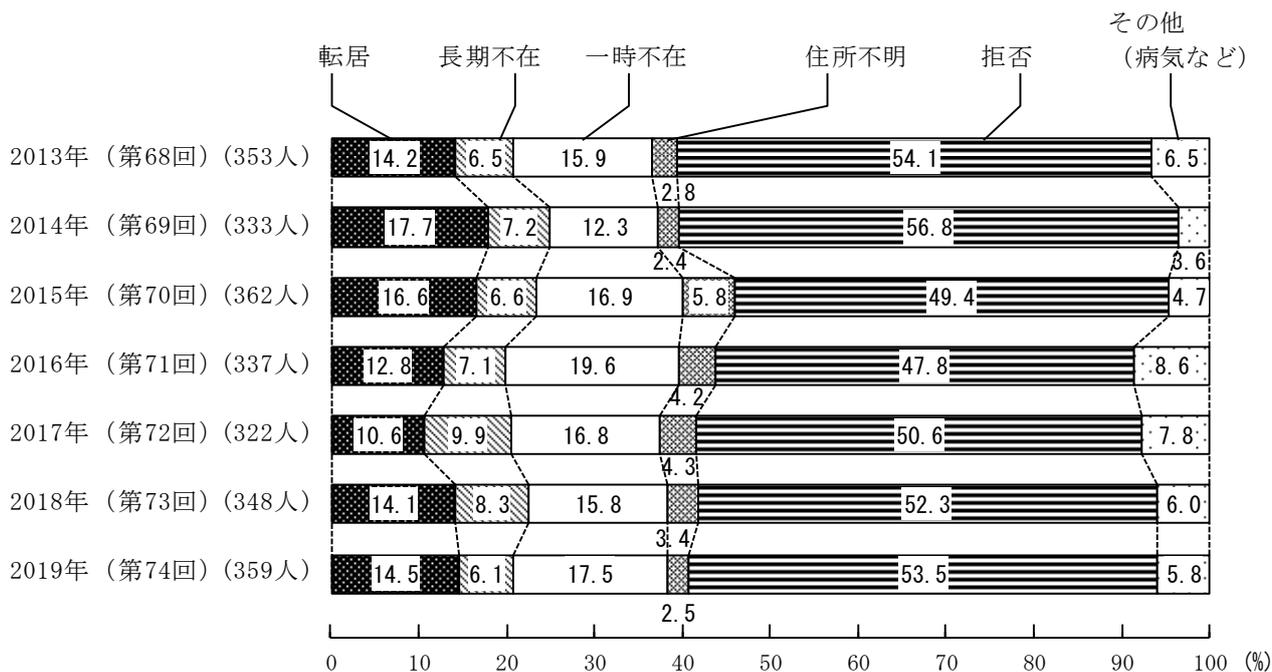
図 1 - 3 職業別回答者構成比の変遷
(農林業・給料生活)



★調査不能の内訳

調査不能の内訳について、郵送調査となった2020年以降では、大半が調査票が返送されないことによる不能となり、内情を知ることができないため、それ以前の2013年から2019年の推移を図1-4に示す。いずれの年も「拒否」が最も多く、約半数となっている。次いで「一時不在」、「転居」などの順となっている。(2014年を除く)

図1-4 調査不能の内訳の変遷
(留置調査)



図表の見方について

- ① 結果数値 (%) は小数点第1位を四捨五入しているため、合計が100%にならない場合がある。
- ② 結果数値 (%) は小数点第1位を四捨五入しているため、内訳の合計が計に一致しない場合がある。
- ③ 図表の構成比で、「0」は回答者がいるが1%に達しないこと、「-」は回答者がいないことを示す。
- ④ 表の構成比で、赤で表示している値は、全体の割合に対して高い割合であることを示す。

第 2 章 「全国農村読書調査」結果の概要

総合読書率、雑誌読書率、書籍読書率

★総合読書率の変遷

総合読書率（月刊誌、週刊誌、書籍のいずれかを読んでいる割合）の推移を表2-1に示す。2018年および2019年には最も低下し55%となった。郵送調査となった2020年以降は少し回復したものの、直近の2023年では再び低下し57%となった。

男女別ではすべての調査回において、女性が男性を上回っている。

年齢別では10代が2014年から2022年までの間、全年代のなかでつねに最も高い読書率を示している。特に2020年は81%と8割を超えている。

職業別ではほぼすべての調査回において学生が高い。また留置調査を実施していた2013年から2019年では自営業も高くなっている。

表2-1 総合読書率の変遷

総合読書率(%)	サンプル数	全体	性別		年齢別							職業別					
			男 性	女 性	16	20	30	40	50	60	70	農 業	給 料 生 活	主 婦	自 営 業	学 生	無 職
					19	29	39	49	59	69	79						
2013年(68回)	847	59	55	63	64	60	56	70	64	52	53	57	59	57	66	69	52
2014年(69回)	867	58	54	62	73	66	64	53	54	62	47	57	59	62	60	67	49
2015年(70回)	838	57	51	62	68	61	57	58	64	51	53	51	56	65	59	76	55
2016年(71回)	863	61	55	66	66	60	65	62	62	61	57	65	62	60	65	69	49
2017年(72回)	878	58	56	60	65	56	56	56	61	63	50	57	57	70	61	58	50
2018年(73回)	852	55	50	59	61	54	54	60	59	53	50	54	54	56	59	61	53
2019年(74回)	841	55	51	60	68	54	54	48	61	58	53	58	53	56	61	75	50
2020年(75回)	824	63	57	67	81	65	54	59	68	58	67	67	62	61	54	72	65
2021年(76回)	816	61	56	65	68	59	62	63	61	57	64	59	61	66	60	76	59
2022年(77回)	836	61	57	65	70	69	56	63	60	63	58	63	62	61	57	67	56
2023年(78回)	761	57	51	61	57	53	55	68	52	54	59	55	57	62	52	61	59

★雑誌読書率の変遷

雑誌読書率（月刊誌か週刊誌を読んでいる割合）の推移を次ページの表2-2に示す。2013年から2017年の間、雑誌読書率は50%弱で安定していたが、2018年と2019年には44%に落ち込んだ。その後、2020年と2021年には若干の回復が見られたものの、2022年から再び減少し、直近の2023年では42%と最も低くなっている。

男女別ではすべての調査回において女性が男性を上回っている。

年齢別では40代以上で高い傾向が見られる。いっぽう、2021年から2023年の3年間の調査では10代が低調であり、なかでも2023年では17%と2割を下回った。

職業別では農業や自営業で高い雑誌読書率を示していたが、2023年ではすべての職業において5割を下回っている。

表 2 - 2 雑誌読書率の変遷

雑誌読書率 (%)	サンプル数	全体	性別		年齢別							職業別					
			男 性	女 性	16	20	30	40	50	60	70	農 業	給 料 生 活	主 婦	自 営 業	学 生	無 職
					19	29	39	49	59	69	79						
2013年(68回)	847	49	46	52	42	50	42	55	57	46	47	53	50	45	56	49	42
2014年(69回)	867	49	47	51	50	52	57	45	45	54	41	53	49	49	56	48	39
2015年(70回)	838	47	44	50	36	42	46	46	56	45	46	47	46	55	53	40	42
2016年(71回)	863	50	45	55	21	46	51	49	54	52	52	60	50	48	56	28	42
2017年(72回)	878	48	47	49	46	38	40	49	52	54	44	52	46	55	52	38	42
2018年(73回)	852	44	40	47	27	40	40	48	46	43	46	50	42	49	40	24	44
2019年(74回)	841	44	41	47	26	34	36	35	49	51	48	50	40	47	53	33	45
2020年(75回)	824	48	43	52	52	36	40	40	53	45	62	63	47	46	35	47	49
2021年(76回)	816	50	47	52	37	35	45	50	50	48	58	54	47	52	53	41	49
2022年(77回)	836	44	39	47	21	34	34	45	48	50	44	49	45	41	53	22	43
2023年(78回)	761	42	39	44	17	33	32	48	34	43	50	45	40	47	41	19	47

★書籍読書率の変遷

書籍読書率の推移を表 2 - 3 に示す。2013年から2015年、および2017年から2019年の間、書籍読書率は30%前後で推移しているが、2016年および2020年から2022年にかけては35%を上回っている。直近の2023年では再び低下し、34%となった。

男女別では2013年および2017年を除いてつねに女性が男性を上回っている。

年齢別では10代から40代にかけて高い読書率となるいっぽう、60代以上ではすべての回で低くなっていた。

職業別ではすべての調査回において学生が高くなっている。給料生活、主婦も高くなることが多い。

表 2 - 3 書籍読書率の変遷

書籍読書率 (%)	サンプル数	全体	性別		年齢別							職業別					
			男 性	女 性	16	20	30	40	50	60	70	農 業	給 料 生 活	主 婦	自 営 業	学 生	無 職
					19	29	39	49	59	69	79						
2013年(68回)	847	30	30	30	52	38	38	39	31	21	22	20	33	28	32	57	30
2014年(69回)	867	30	27	32	60	45	29	32	25	29	21	18	32	30	33	48	30
2015年(70回)	838	30	26	34	64	39	37	33	32	25	18	19	30	32	34	72	32
2016年(71回)	863	35	31	39	59	45	41	43	33	28	29	28	39	34	31	63	29
2017年(72回)	878	31	31	31	50	44	34	32	35	26	22	19	34	35	25	42	29
2018年(73回)	852	32	28	36	55	42	33	33	38	30	21	19	33	33	38	55	31
2019年(74回)	841	31	27	34	58	42	39	32	34	26	21	27	31	29	34	67	24
2020年(75回)	824	36	31	40	67	54	34	44	44	29	24	19	41	38	33	63	34
2021年(76回)	816	37	31	43	63	51	45	43	42	31	29	22	44	43	30	72	31
2022年(77回)	836	39	36	41	67	55	44	42	38	34	31	30	40	42	36	64	32
2023年(78回)	761	34	27	39	57	36	44	51	33	28	24	23	39	34	26	58	26

★総合読書率・雑誌読書率・書籍読書率の経年比較

総合読書率・雑誌読書率・書籍読書率3種の推移を図2-1に示す。雑誌読書率はつねに書籍読書率を上回ってきた。2013年では雑誌読書率は49%であったのに対し、書籍読書率が30%にとどまり、その差は19ポイントだった。しかしこの差は年々縮小傾向にあり、2023年では雑誌読書率42%に対して書籍読書率は34%と8ポイント差にまで縮小している。

図2-1 総合読書率・雑誌読書率・書籍読書率の経年比較

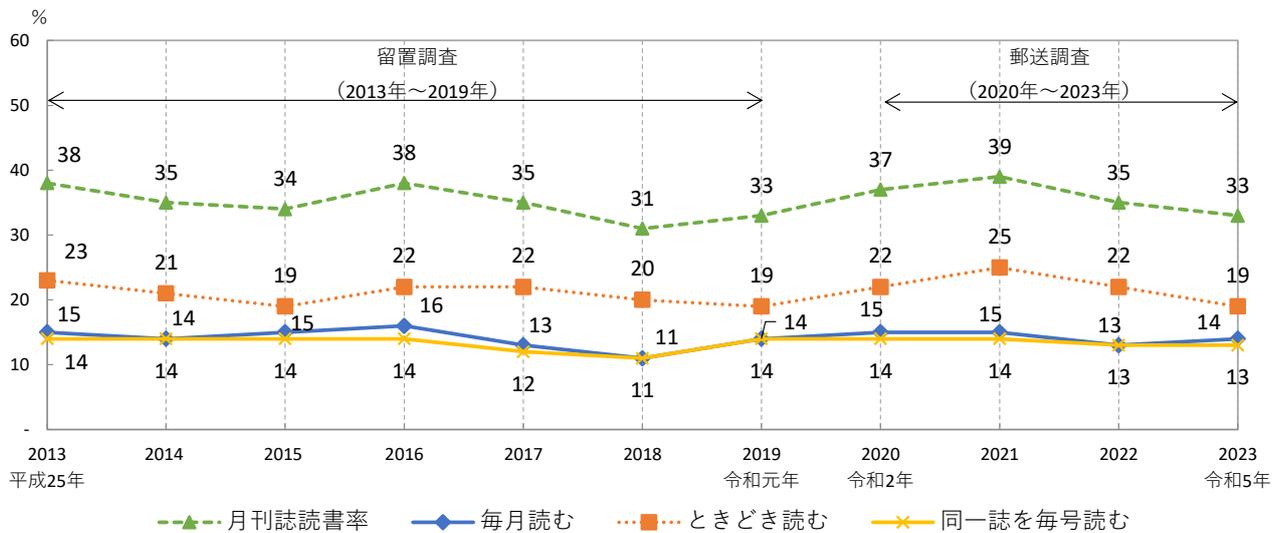


月刊誌についての変遷

★月刊誌読書率の推移

月刊誌読書率の推移を図3-1に示す。月刊誌読書率は期間中34%前後で推移しており、増加や減少の傾向はあまり見られない。月刊誌をときどき読む人も期間中20%前後で同様の推移となっている。毎月読む人および同一誌を毎号読む人（定期購読者）は両者とも14%前後で推移している。

図3-1 月刊誌読書率の経年比較



月刊誌読書率について、属性別の結果を表3-1に示す。男女別ではすべての調査回において女性が男性を上回っている。

年齢別では40代以上で高い傾向が見られる。いっぽう2021年から2023年の3年間の調査では10代が低調であり、なかでも2023年では9%と1割を下回った。

職業別では農業や主婦、自営業で高い雑誌読書率を示していたが、直近の2023年ではすべての職業において4割を下回っている。

表3-1 月刊誌読書率の変遷

月刊誌読書率 (%)	サン プル 数	全 体	性別		年齢別								職業別					
			男 性	女 性	16	20	30	40	50	60	70	農 業	給 料 生 活	主 婦	自 営 業	学 生	無 職	
					19	29	39	49	59	69	79							
2013年(68回)	847	38	34	42	39	38	36	45	44	32	36	42	39	31	40	43	31	
2014年(69回)	867	35	31	38	43	40	42	32	33	35	27	38	34	41	39	42	22	
2015年(70回)	838	34	30	38	23	27	34	36	40	30	36	36	33	43	33	28	25	
2016年(71回)	863	38	32	43	21	38	37	39	44	35	38	44	39	36	43	25	28	
2017年(72回)	878	35	31	39	35	26	28	37	39	39	32	39	34	39	39	29	28	
2018年(73回)	852	31	27	35	18	37	30	37	36	30	26	40	32	36	22	21	20	
2019年(74回)	841	33	29	37	26	25	29	26	41	36	32	38	31	31	42	29	29	
2020年(75回)	824	37	28	44	38	35	31	32	44	34	43	49	36	41	30	38	33	
2021年(76回)	816	39	36	42	26	24	36	41	42	38	44	42	38	41	47	34	37	
2022年(77回)	836	35	31	38	12	21	30	37	40	42	33	41	36	32	49	13	32	
2023年(78回)	761	33	29	36	9	24	27	40	32	37	33	35	34	38	33	6	30	

読んでいる月刊誌（毎号読む＋ときどき読む）を自由・複数回答で尋ねた結果を**表3-2**に示す。すべての調査回において1位は『家の光』となった。2位は直近の4回を含め、『現代農業』が7回、『オレンジページ』が4回となっている。ほかは『E S S E』『レタスクラブ』『NHKきょうの料理』などがランクイン常連となっている。

表3-2 読んでいる月刊誌（毎号読む＋ときどき読む）の変遷

（自由・複数回答）

2023年		2022年		2021年	
1	家の光	1	家の光	1	家の光
2	現代農業	2	現代農業	2	現代農業
3	オレンジページ	3	オレンジページ	3	オレンジページ
4	ハルメク	4	ハルメク	3	文藝春秋
5	NHKきょうの料理	5	E S S E	5	J A F M a t e
5	天然生活	5	NHKきょうの料理	6	E S S E
7	E S S E	7	J A F M a t e	6	NHKきょうの料理
7	サンキュ！	7	PHP	6	NHK趣味の園芸
7	暮しの手帖	7	サンキュ！	9	L E E
10	レタスクラブ	7	婦人公論	9	婦人公論
7	文藝春秋	7	暮しの手帖		
2020年		2019年		2018年	
1	家の光	1	家の光	1	家の光
2	現代農業	2	オレンジページ	2	オレンジページ
3	オレンジページ	3	PHP	3	E S S E
4	E S S E	3	文藝春秋	3	クロワッサン
4	NHK趣味の園芸	5	E S S E	5	サンキュ！
6	レタスクラブ	5	レタスクラブ	6	現代農業
7	サンキュ！	7	サンキュ！	6	文藝春秋
8	NHKきょうの料理	8	現代農業	8	L E E
8	PHP	9	L E E	8	NHK趣味の園芸
8	クロワッサン	9	クロワッサン	8	レタスクラブ
8	婦人公論			8	婦人公論
2017年		2016年		2015年	
1	家の光	1	家の光	1	家の光
2	オレンジページ	2	オレンジページ	2	現代農業
3	現代農業	3	現代農業	3	オレンジページ
4	E S S E	4	E S S E	4	レタスクラブ
5	レタスクラブ	5	NHK趣味の園芸	5	E S S E
5	文藝春秋	6	レタスクラブ	6	文藝春秋
7	NHK趣味の園芸	7	月刊少年マガジン	7	NHKきょうの料理
7	クロワッサン	8	クロワッサン	7	サンキュ！
9	MORE	9	NHKきょうの料理	9	じゃらん
9	PHP	9	PHP	10	PHP
9	PRESIDENT			10	クロワッサン
9	婦人公論				
2014年		2013年			
1	家の光	1	家の光		
2	現代農業	2	現代農業		
3	オレンジページ	3	オレンジページ		
4	E S S E	4	文藝春秋		
5	レタスクラブ	5	レタスクラブ		
6	NHKきょうの料理	6	E S S E		
6	PRESIDENT	7	NHKきょうの料理		
6	文藝春秋	7	NHK趣味の園芸		
9	NHK趣味の園芸	7	月刊少年マガジン		
10	月刊少年マガジン	7	婦人公論		

★毎号読む月刊誌について

毎号読む月刊誌読書率について、属性別の結果を**表3-3**に示す。男女別では特定の傾向は見られない。

年齢別では50代以上で高い傾向が見られる。いっぽう最近の調査では10代が低調であり、なかでも2021年以降は該当者なしとなっている。

職業別ではすべての調査回において農業で高くなっている。

表3-3 毎号読む月刊誌読書率の変遷

毎号読む月刊誌(%)	サン プル 数	全 体	性別		年齢別							職業別					
			男 性	女 性	16	20	30	40	50	60	70	農 業	給 料 生 活	主 婦	自 営 業	学 生	無 職
					19 歳	29 歳	39 歳	49 歳	59 歳	69 歳	79 歳						
2013年(68回)	847	15	15	15	9	21	14	12	18	13	17	20	16	11	8	17	10
2014年(69回)	867	14	14	14	17	16	11	10	15	16	13	22	13	10	18	15	7
2015年(70回)	838	15	16	14	14	5	12	17	17	12	21	19	12	22	21	12	9
2016年(71回)	863	16	13	18	10	11	9	15	19	14	22	23	14	15	15	13	14
2017年(72回)	878	13	14	12	12	6	10	11	13	15	17	22	12	12	13	8	8
2018年(73回)	852	11	11	12	9	10	8	12	9	13	13	22	9	11	10	9	9
2019年(74回)	841	14	15	14	11	3	9	9	19	20	14	22	11	11	28	13	12
2020年(75回)	824	15	13	16	10	6	9	15	17	15	20	26	13	19	7	9	11
2021年(76回)	816	15	16	14	-	6	7	12	20	15	18	18	15	16	17	-	12
2022年(77回)	836	13	13	14	-	7	8	14	16	17	13	27	13	12	11	-	9
2023年(78回)	761	14	14	15	-	13	8	16	15	16	17	21	13	16	13	-	14

毎号読んでいる月刊誌を自由・複数回答で尋ねた結果を**表3-4**に示す。すべての調査回において1位は『家の光』となった。2位もすべての調査回において『現代農業』となっている。ほかは『JAFMate』『ハルメク』『月刊少年マガジン』などがランクイン常連となっている。

表3-4 読んでいる月刊誌（毎号読む）の変遷

(自由・複数回答)

2023年		2022年		2021年	
1	家の光	1	家の光	1	家の光
2	現代農業	2	現代農業	2	現代農業
3	ハルメク	3	ハルメク	3	JAFMate
4	NHKきょうの料理	4	ねこのきもち	4	ハルメク
5	天然生活	4	ビッグコミックオリジナル	5	PHP
5	文藝春秋				
5	ねこのきもち				
5	3分クッキング				
2020年		2019年		2018年	
1	家の光	1	家の光	1	家の光
2	現代農業	2	現代農業	2	現代農業
3	ESSE	3	PHP	3	月刊少年マガジン
3	JAFMate	4	BE-PAL	4	JAFMate
3	ハルメク	4	大白蓮華	4	NHK趣味の園芸 等 (計11誌)
3	フルーツひろしま	6	月刊少年マガジン		
7	STORY				
7	ビッグコミックオリジナル				
2017年		2016年		2015年	
1	家の光	1	家の光	1	家の光
2	現代農業	2	現代農業	2	現代農業
3	JAFMate	3	ESSE	3	文藝春秋
4	PHP	3	オレンジページ	4	ESSE
5	ESSE	3	月刊少年マガジン	4	NHKきょうの料理
5	ちゃぐりん 等 (計11誌)	6	NHK趣味の園芸	4	オレンジページ
		6	ちゃぐりん	4	ベストカー
		6	ハルメク	8	JAFMate
		6	ビッグコミックオリジナル	8	ALBA 等 (計14誌)
		6	ホルスタイン		
2014年		2013年			
1	家の光	1	家の光		
2	現代農業	2	現代農業		
3	月刊少年マガジン	3	月刊少年マガジン		
4	いきいき	4	文藝春秋		
5	PRESIDENT	5	PRESIDENT		
6	JAFMate	5	Ray 等 (計10誌)		
6	BE-PAL 等 (計10誌)				

★ときどき読む月刊誌について

ときどき読む月刊誌読書率について、属性別の結果を**表3-5**に示す。男女別ではすべての調査回において女性が男性を上回っている。

年齢別では60代および70代では低くなる傾向があったが、2022年、2023年調査では60代が一転して高くなっている。

職業別では給料生活、主婦、自営業で高くなるが多かった。

表3-5 ときどき読む月刊誌読書率の変遷

ときどき読む月刊誌(%)	サンプル数	全体	性別		年齢別						職業別						
			男	女	16	20	30	40	50	60	70	農	給	主	自	学	無
			性	性	歳	歳	歳	歳	歳	歳	歳	業	料	婦	営	生	職
2013年(68回)	847	23	19	27	30	18	22	33	26	20	19	22	23	20	32	26	22
2014年(69回)	867	21	17	24	27	25	30	22	18	19	15	16	21	31	21	27	15
2015年(70回)	838	19	13	24	9	22	21	18	23	18	15	17	21	22	12	16	16
2016年(71回)	863	22	19	25	10	28	28	24	26	21	16	21	25	21	28	13	14
2017年(72回)	878	22	17	26	23	20	18	26	25	24	14	17	22	28	27	21	21
2018年(73回)	852	20	16	24	9	27	21	26	26	17	13	18	23	25	12	12	11
2019年(74回)	841	19	15	22	16	22	20	17	21	17	18	16	21	21	14	17	17
2020年(75回)	824	22	15	28	29	29	23	17	27	18	24	23	23	22	23	28	22
2021年(76回)	816	25	20	29	26	18	29	29	22	22	25	24	23	24	30	34	25
2022年(77回)	836	22	19	24	12	14	22	23	24	24	20	14	23	20	38	13	23
2023年(78回)	761	19	15	21	9	11	20	24	17	21	17	15	21	22	20	6	16

ときどき読む月刊誌を自由・複数回答で尋ねた結果を次ページの**表3-6**に示す。1位は『オレンジページ』が6回と最も多く、次いで『家の光』が5回、『レタスクラブ』が1回となった。また『ESSE』はすべての調査回でランクインしている。

他には『現代農業』『クロワッサン』『文藝春秋』『NHKきょうの料理』などがランクイン常連となっている。

表3-6 読んでいる月刊誌（ときどき読む）の変遷

(自由・複数回答)

2023年		2022年		2021年	
1	オレンジページ	1	家の光	1	家の光
2	家の光	2	現代農業	2	文藝春秋
3	現代農業	3	オレンジページ	3	オレンジページ
4	ESSE	4	ESSE	4	LEE
4	レタスクラブ	4	NHKきょうの料理	4	婦人公論
6	サンキュ!	6	サンキュ!	6	ESSE
6	天然生活	7	クロワッサン	6	NHKきょうの料理
6	暮らしの手帖	7	文藝春秋	6	NHK趣味の園芸
9	PHP	9	JAF Mate	6	現代農業
9	クロワッサン	9	PHP 等 (計7誌)	10	やさしい畑
				10	レタスクラブ
2020年		2019年		2018年	
1	オレンジページ	1	家の光	1	オレンジページ
2	現代農業	2	オレンジページ	2	ESSE
3	NHK趣味の園芸	3	文藝春秋	3	クロワッサン
3	家の光	4	レタスクラブ	4	サンキュ!
5	クロワッサン	5	ESSE	5	家の光
5	サンキュ!	5	サンキュ!	6	LEE
5	レタスクラブ	7	LEE	6	レタスクラブ
5	婦人公論	7	クロワッサン	6	婦人公論
9	ESSE	9	PHP	9	文藝春秋
9	NHKきょうの料理	10	NHK趣味の園芸	10	NHKきょうの料理 等 (計5誌)
9	PHP	10	婦人公論		
9	暮らしの手帖				
2017年		2016年		2015年	
1	オレンジページ	1	家の光	1	レタスクラブ
2	家の光	1	オレンジページ	2	家の光
3	ESSE	3	ESSE	2	オレンジページ
4	クロワッサン	4	NHK趣味の園芸	4	ESSE
4	現代農業	5	レタスクラブ	5	現代農業
4	文藝春秋	5	現代農業	6	サンキュ!
7	MORE	7	クロワッサン	6	文藝春秋
7	NHK趣味の園芸	8	PHP	8	PHP
7	PRESIDENT	8	サンキュ!	9	NHKきょうの料理
7	レタスクラブ	10	LEE	9	NHK趣味の園芸
7	婦人公論	10	NHKきょうの料理	9	VERY
		10	文藝春秋	9	クロワッサン
				9	じゃらん
2014年		2013年			
1	オレンジページ	1	家の光		
2	家の光	2	オレンジページ		
3	ESSE	3	現代農業		
3	レタスクラブ	4	文藝春秋		
5	現代農業	5	ESSE		
6	文藝春秋	5	レタスクラブ		
7	NHKきょうの料理	7	婦人公論		
8	NHK趣味の園芸	8	NHKきょうの料理		
8	PRESIDENT	8	NHK趣味の園芸		
10	Number	10	MORE		
10	PHP	10	PHP 等 (計6誌)		
10	婦人画報				

★同一誌を毎号読む（定期購読）月刊誌について

同一誌を毎号読む（定期購読）月刊誌読書率について、属性別の結果を表3-7に示す。男女別では特定の傾向は見られない。

年齢別では50代以上で高くなるが多かった。いっぽう30代以下はほとんどの調査回で低くなっており、なかでも2021年以降の10代は該当者なしとなっている。

職業別ではすべての調査回において農業で高くなっている。

表3-7 定期購読月刊誌読書率の変遷

定期購読月刊誌(%)	サンプル数	全体	性別		年齢別						職業別						
			男性	女性	16	20	30	40	50	60	70	農	給	主	自	学	無
					19	29	39	49	59	69	79						
2013年(68回)	847	14	15	14	9	18	14	12	17	12	16	20	16	10	8	17	7
2014年(69回)	867	14	14	14	17	16	11	10	15	15	13	20	13	10	18	15	7
2015年(70回)	838	14	16	13	14	5	10	17	17	12	19	17	12	22	21	12	9
2016年(71回)	863	14	11	17	7	11	9	14	17	13	21	22	13	15	8	9	14
2017年(72回)	878	12	13	11	12	6	9	10	11	15	17	21	11	12	10	8	8
2018年(73回)	852	11	11	11	6	10	8	11	9	13	13	22	9	11	10	6	9
2019年(74回)	841	14	14	14	11	3	9	9	19	20	13	22	11	9	27	13	12
2020年(75回)	824	14	13	15	10	6	9	14	16	15	19	26	12	18	7	9	10
2021年(76回)	816	14	15	13	-	6	7	12	20	14	17	18	15	14	17	-	9
2022年(77回)	836	13	12	13	-	5	8	13	16	15	13	24	12	12	11	-	9
2023年(78回)	761	13	12	14	-	11	6	15	14	14	16	20	12	16	11	-	13

★月刊誌を読む目的・理由の推移

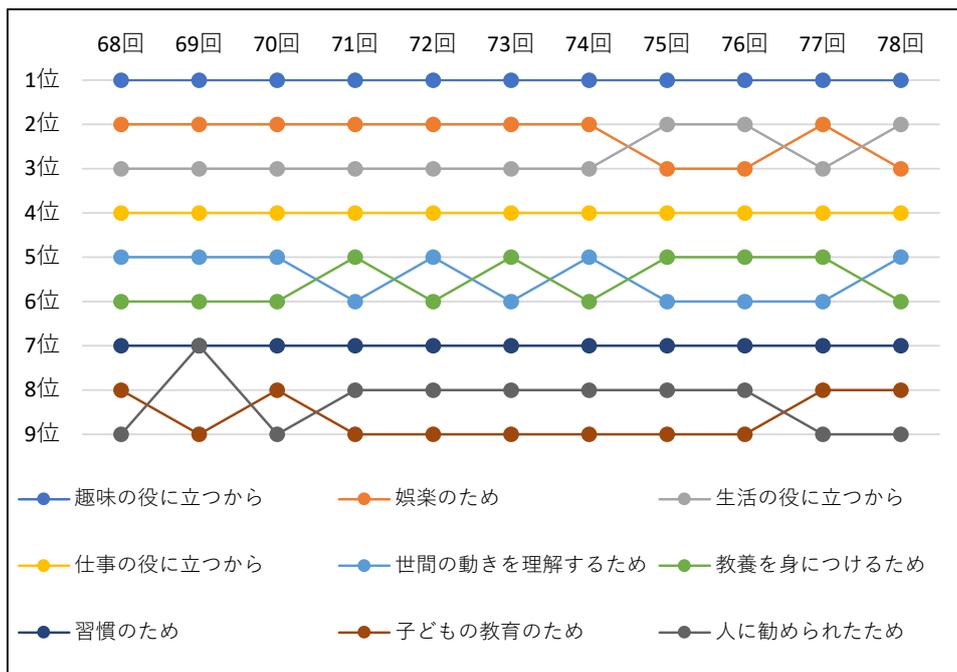
月刊誌を読む人へ、月刊誌を読む目的・理由について質問した結果の推移を表3-8に、順位の変遷を図3-2に示す。すべての調査回において「趣味の役に立つから」が1位となった。2位は年によって変動があり、2019年までは「娯楽のため」が2位を占めていたが、2020年は「生活の役に立つから」が2位となった。2021年以降は「娯楽のため」と「生活の役に立つから」のどちらかが2位となる状態が続いている。

その他の目的・理由については、「仕事の役に立つから」、「世間の動きを理解するため」、「教養を身につけるため」がそれぞれ中位（4～6位）、「習慣のため」、「子どもの教育のため」、「人に勧められたため」がそれぞれ低位（7～9位）となっていた。

表3-8 月刊誌を読む目的・理由の変遷

月刊誌を読む目的・理由(%) <複数回答>	サンプル数	選択肢別								
		か ら 趣 味 の 役 に 立 つ	娯 楽 の た め	か ら 生 活 の 役 に 立 つ	か ら 仕 事 の 役 に 立 つ	世 間 の 動 き を 理 解 す る た め	た め 教 養 を 身 に つ け る	習 慣 の た め	た め 子 ど も の 教 育 の	た め 人 に 勧 め ら れ た
2013年(68回)	322	43	42	38	24	19	18	7	3	1
2014年(69回)	301	51	41	33	23	17	16	3	2	3
2015年(70回)	284	46	38	37	20	19	11	4	3	2
2016年(71回)	284	50	47	41	25	15	19	5	2	2
2017年(72回)	309	52	41	39	24	17	14	5	1	2
2018年(73回)	266	50	42	32	22	13	14	7	2	3
2019年(74回)	277	48	43	38	23	18	14	5	1	1
2020年(75回)	307	52	44	45	26	16	21	5	2	2
2021年(76回)	321	49	40	42	22	16	18	6	2	2
2022年(77回)	292	51	44	36	22	15	16	7	2	2
2023年(78回)	252	54	41	43	21	16	15	4	3	3

図3-2 月刊誌を読む目的・理由の順位の変遷

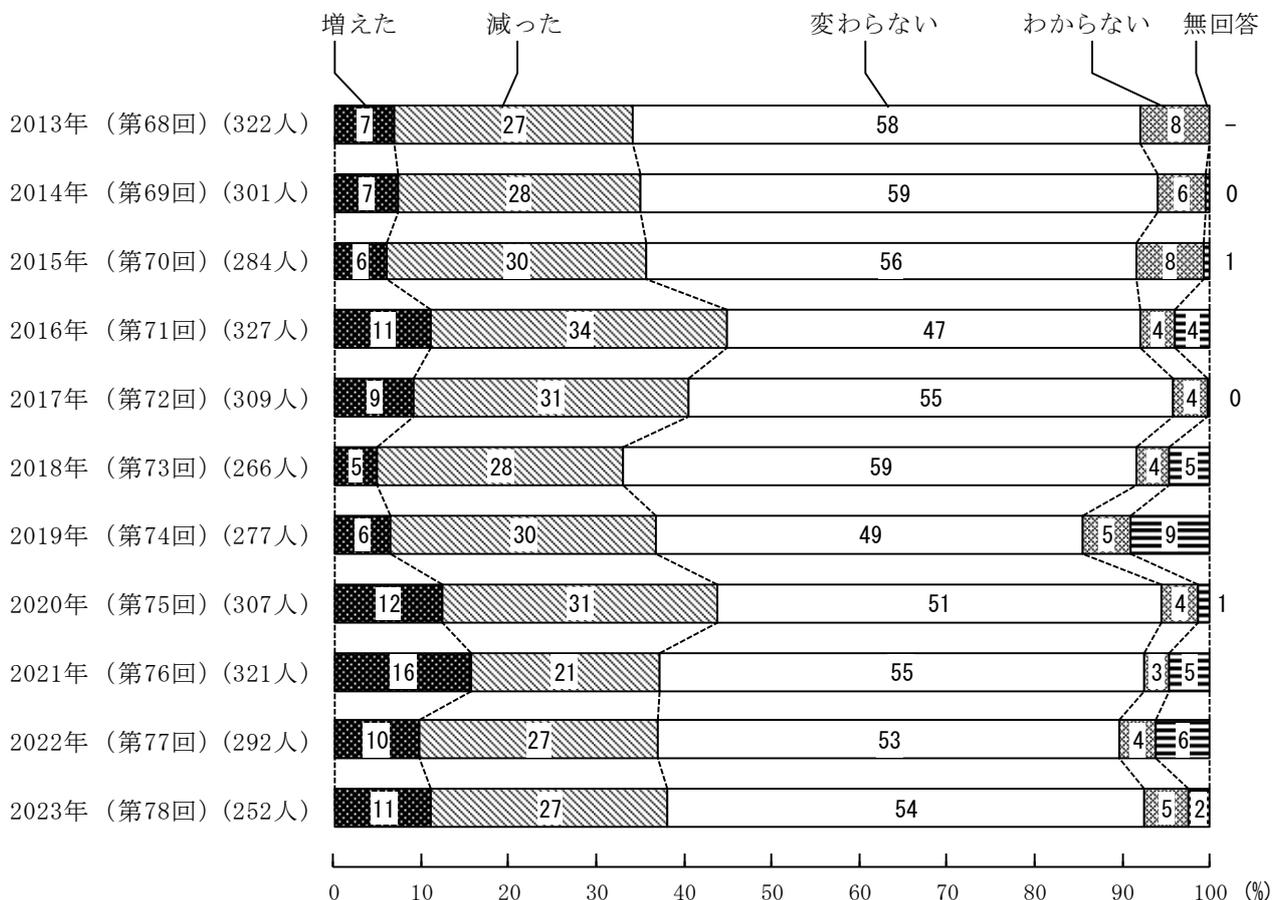


注) 順位については小数点以下の値も考慮している。

★月刊誌の読書時間の変化・増えた理由・減った理由の推移

月刊誌を読む人へ、読書時間について質問した結果の推移を図3-3に示す。すべての調査回で「変わらない」が1位、「減った」が2位となっている。

図3-3 月刊誌の読書時間の変化の変遷

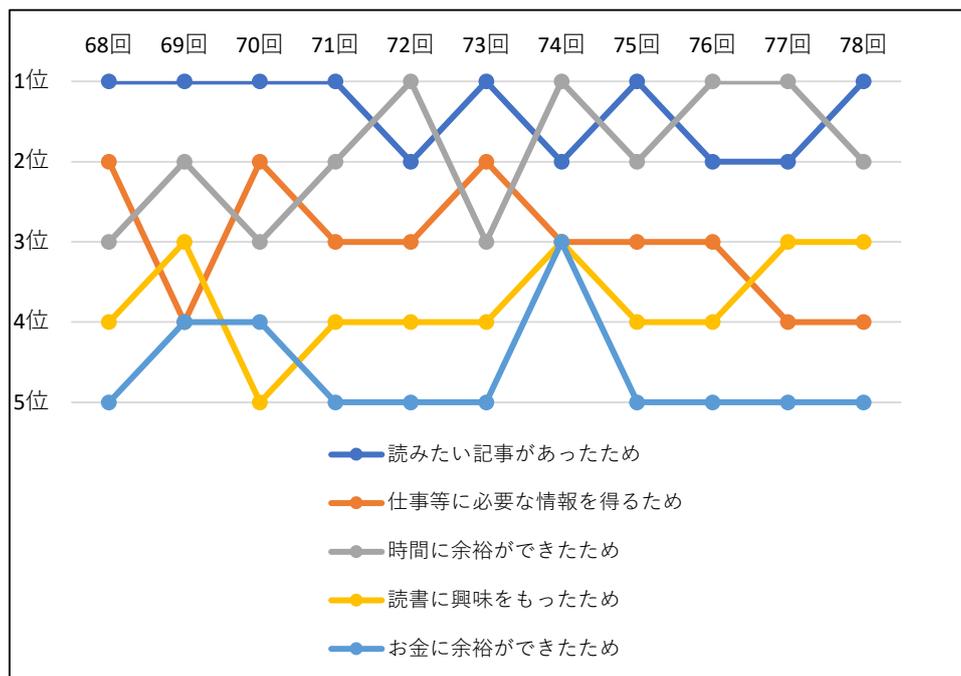


月刊誌を読む時間が「増えた」人へ、理由について質問した結果の推移を表3-9に、順位の変遷を図3-4に示す。直近の2023年調査では「読みたい記事があったため」が1位、「時間に余裕ができたため」が2位となった。「読みたい記事があったため」はすべての調査回で1位または2位となっている。ほか、2013年、2015年、2018年では「仕事等に必要な情報を得るため」が2位となっている。

表3-9 月刊誌の読書時間が増えた理由の変遷

月刊誌の読書時間が増えた理由(%) <複数回答>	サンプル数	選択肢別				
		あ読 つみ たい 記事 があ った ため	情仕 報事 を等 得に る必 た要 めな	で時 き間 にに た余 裕が	も読 つ書 たに た興 味を	でお 金に きた た余 裕が
2013年(68回)	22	55	41	32	14	9
2014年(69回)	22	59	14	27	23	14
2015年(70回)	17	47	41	35	-	6
2016年(71回)	36	64	22	42	11	-
2017年(72回)	29	41	38	45	10	3
2018年(73回)	13	46	38	23	15	8
2019年(74回)	18	50	11	67	11	11
2020年(75回)	38	58	24	47	18	3
2021年(76回)	50	54	22	62	20	4
2022年(77回)	28	54	21	79	25	7
2023年(78回)	28	75	11	54	18	4

図3-4 月刊誌の読書時間が増えた理由の順位の変遷



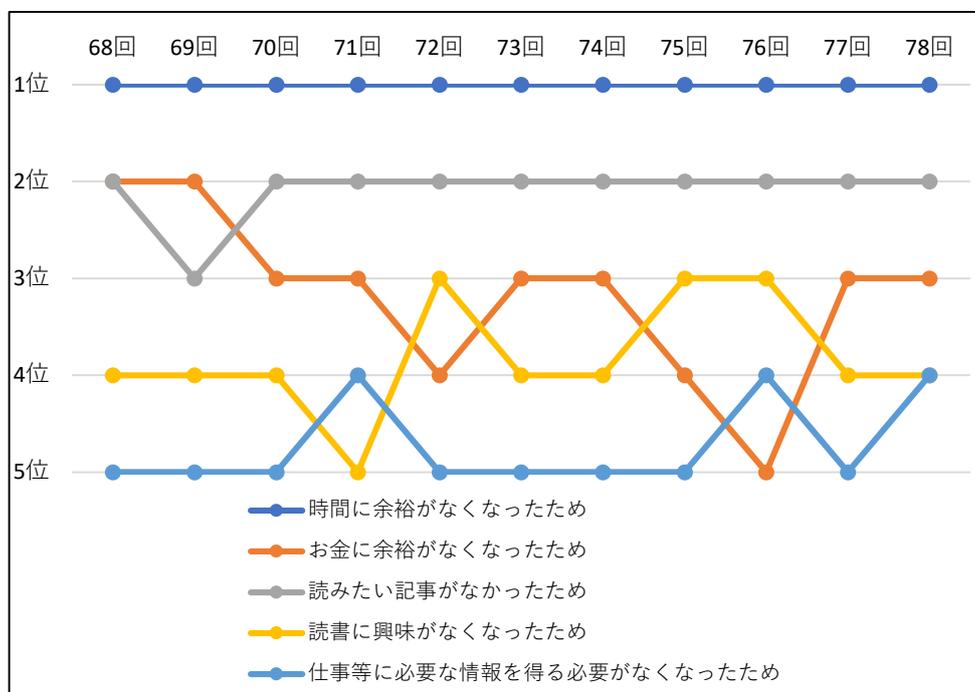
注) 順位については小数点以下の値も考慮している。

月刊誌を読む時間が「減った」人へ、理由について質問した結果の推移を表3-10に、順位の変移を図3-5に示す。すべての調査回において「時間に余裕がなくなったため」が1位となった。2位は2014年を除き「読みたい記事がなかったため」、2014年のみ「お金に余裕がなくなったため」となっている。

表3-10 月刊誌の読書時間が減った理由の変遷

月刊誌の読書時間が 増えた理由(%) <複数回答>	サ ン プ ル 数	選択肢別				
		あ 読 み た い 記 事 が	情 報 を 得 る 必 要 な	仕 事 等 に 必 要 な	で 時 間 に 余 裕 が	も 読 書 に 興 味 を
2013年(68回)	22	55	41	32	14	9
2014年(69回)	22	59	14	27	23	14
2015年(70回)	17	47	41	35	-	6
2016年(71回)	36	64	22	42	11	-
2017年(72回)	29	41	38	45	10	3
2018年(73回)	13	46	38	23	15	8
2019年(74回)	18	50	11	67	11	11
2020年(75回)	38	58	24	47	18	3
2021年(76回)	50	54	22	62	20	4
2022年(77回)	28	54	21	79	25	7
2023年(78回)	28	75	11	54	18	4

図3-5 月刊誌の読書時間が減った理由の順位の変遷



注) 順位については小数点以下の値も考慮している。

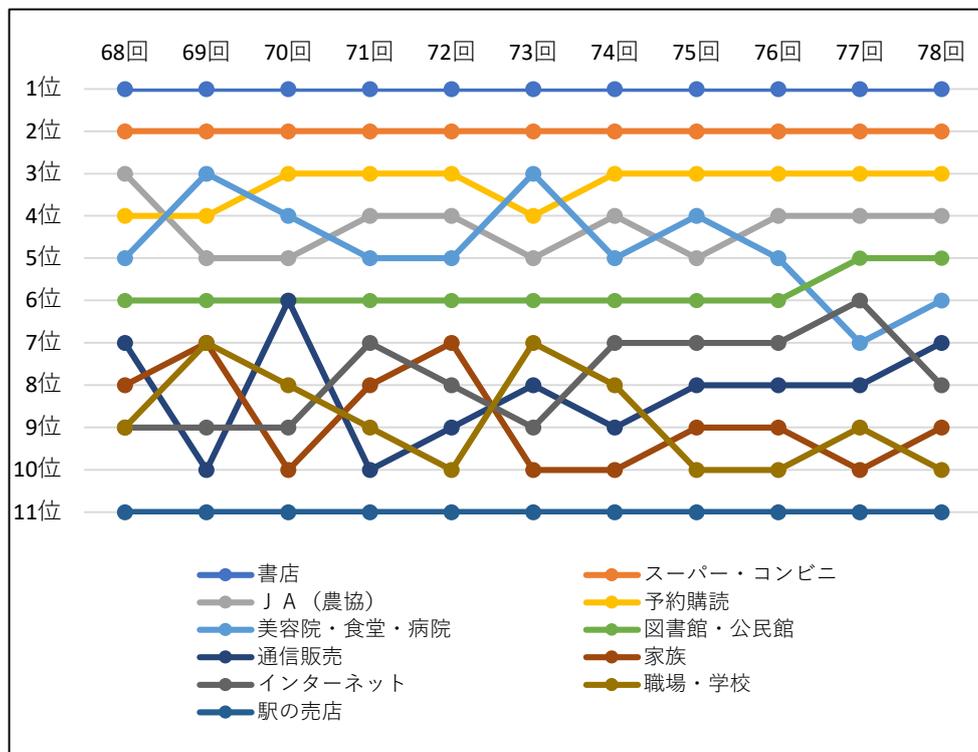
★月刊誌の購入先または借覧先と入手方法の推移

月刊誌を読む人へ、購入先または借覧先と入手方法について質問した結果の推移を表3-11に、順位の推移を図3-6に示す。すべての調査回で「書店」が1位、「スーパー・コンビニ」が2位となった。このほか、3～5位の上位は「JA（農協）」、「予約購読」、「美容院・食堂・病院」が占めている。「駅の売店」はすべての調査回で1%以下となった。

表3-11 月刊誌の購入先または借覧先と入手方法の変遷

月刊誌の購入先または借覧先と入手方法(%) <複数回答>	サンプル数	選択肢別										
		書店	スーパー・コンビニ	JA（農協）	予約購読	美容院・食堂・病院	図書館・公民館	通信販売	家族	インターネット	職場・学校	駅の売店
2013年(68回)	322	55	32	16	13	11	5	5	4	3	3	1
2014年(69回)	301	56	36	12	12	13	5	4	5	4	5	0
2015年(70回)	284	57	32	11	14	11	5	5	2	2	3	1
2016年(71回)	327	53	32	15	16	14	6	2	4	4	3	1
2017年(72回)	309	57	29	13	14	11	8	5	5	5	4	1
2018年(73回)	266	53	26	11	13	15	9	6	2	5	6	0
2019年(74回)	277	51	29	13	17	11	7	4	3	6	4	-
2020年(75回)	307	54	30	13	14	13	11	6	5	8	5	1
2021年(76回)	321	53	25	14	19	10	7	5	2	6	2	-
2022年(77回)	292	47	21	12	14	10	11	7	3	10	6	1
2023年(78回)	252	52	22	13	17	11	11	10	4	7	3	0

図3-6 月刊誌の購入先または借覧先と入手方法の順位の推移



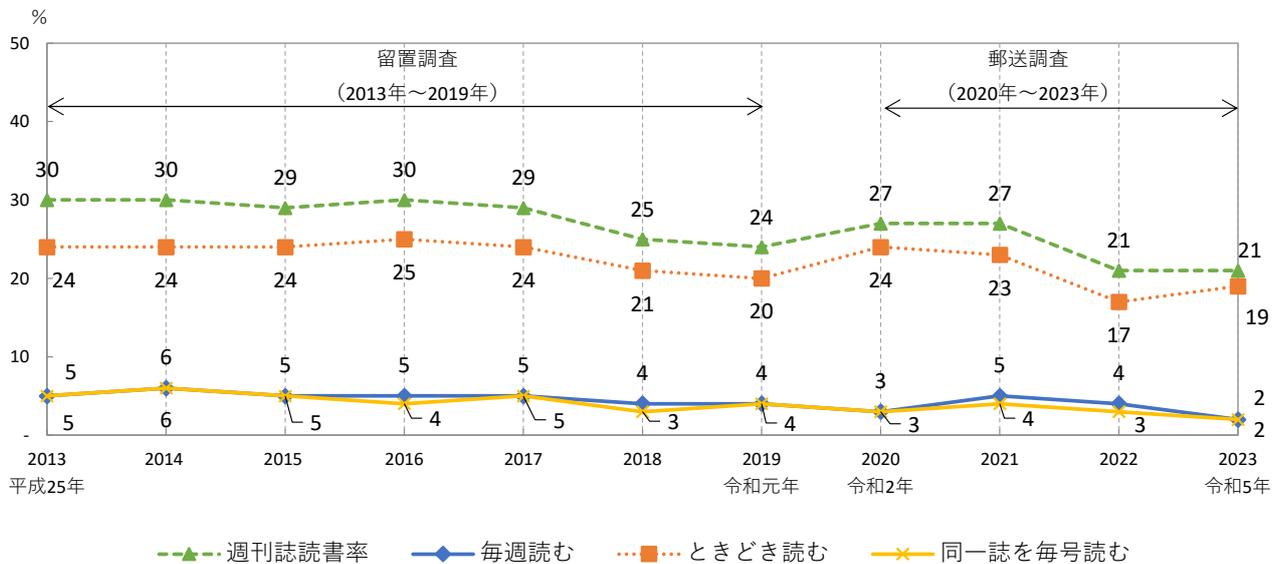
注) 順位については小数点以下の値も考慮している。

週刊誌についての変遷

★週刊誌読書率の推移

週刊誌読書率の推移を図4-1に示す。週刊誌読書率は年々減少傾向にあり、2013年の30%から2023年の21%では9ポイント減少している。週刊誌をときどき読む人は24%程度を推移していたが、2022年以降は2割を下回っている。毎週読む人および同一誌を毎号読む人（定期購読者）は両者ともつねに5%程度と低調である。

図4-1 週刊誌読書率の経年比較



週刊誌読書率について、属性別の結果を表4-1に示す。男女別では特定の傾向は見られない。

年齢別では50代以上で高い傾向が見られる。

職業別では農業や主婦、自営業、無職で高い雑誌読書率を示している。

表4-1 週刊誌読書率の変遷

週刊誌読書率 (%)	サン プル 数	全 体	性別		年齢別							職業別					
			男 性	女 性	16 ～ 19 歳	20 ～ 29 歳	30 ～ 39 歳	40 ～ 49 歳	50 ～ 59 歳	60 ～ 69 歳	70 ～ 79 歳	農 業	給 料 生 活	主 婦	自 営 業	学 生	無 職
2013年(68回)	847	30	29	30	15	32	21	32	33	29	31	31	29	27	42	23	26
2014年(69回)	867	30	32	28	27	26	31	26	28	36	27	32	30	23	42	21	30
2015年(70回)	838	29	30	28	23	27	24	20	36	29	34	28	26	32	40	28	31
2016年(71回)	863	30	30	30	7	28	28	26	28	33	39	39	29	28	32	13	27
2017年(72回)	878	29	32	27	23	18	25	28	33	35	26	31	28	34	34	13	27
2018年(73回)	852	25	25	25	12	8	20	19	27	26	36	27	22	30	26	6	32
2019年(74回)	841	24	24	24	16	20	14	21	23	26	31	31	19	29	21	21	29
2020年(75回)	824	27	27	27	29	10	15	21	30	26	42	37	25	24	19	22	30
2021年(76回)	816	27	26	28	21	22	26	19	26	22	40	31	24	30	32	17	28
2022年(77回)	836	21	20	22	12	19	15	16	19	24	27	20	21	22	30	11	24
2023年(78回)	761	21	22	21	13	20	9	20	12	22	32	23	17	27	20	16	31

読んでいる週刊誌（毎号読む＋ときどき読む）を自由・複数回答で尋ねた結果を**表4-2**に示す。1位は『女性自身』が6回と最多、『週刊文春』が4回と次点であり、ほか『女性セブン』が1回となっている。そのほか、『週刊少年ジャンプ』『週刊現代』などがランクイン常連となっている。

表4-2 読んでいる週刊誌（毎号読む＋ときどき読む）の変遷

（自由・複数回答）

2023年		2022年		2021年	
1	週刊文春	1	女性セブン	1	週刊文春
2	女性セブン	2	女性自身	2	週刊少年ジャンプ
3	週刊少年ジャンプ	3	週刊文春	3	女性セブン
4	女性自身	4	週刊少年ジャンプ	4	女性自身
5	週刊新潮	5	週刊女性	5	週刊新潮
2020年		2019年		2018年	
1	週刊文春	1	女性自身	1	女性自身
2	女性自身	2	週刊文春	2	週刊現代
3	女性セブン	3	週刊少年ジャンプ	3	週刊文春
4	週刊現代	3	女性セブン	4	女性セブン
4	週刊少年ジャンプ	5	週刊新潮	5	週刊女性
5				5	週刊新潮
2017年		2016年		2015年	
1	週刊文春	1	女性自身	1	女性自身
2	女性自身	2	週刊文春	2	女性セブン
3	女性セブン	3	女性セブン	3	週刊少年ジャンプ
4	週刊少年ジャンプ	4	週刊少年ジャンプ	4	週刊現代
5	週刊現代	5	週刊現代	5	週刊ポスト
2014年		2013年			
1	女性自身	1	女性自身		
2	週刊少年ジャンプ	2	週刊現代		
3	週刊現代	3	週刊少年ジャンプ		
4	女性セブン	4	週刊文春		
5	週刊女性	5	女性セブン		

★毎号読む週刊誌について

毎号読む週刊誌読書率について、属性別の結果を次ページの**表4-3**に示す。男女別ではすべての調査回において男性が女性を上回っている。

年齢別では10代～40代で高い傾向が見られる。60代以上は低調である。

職業別では全体の読書率が低いため、大きな差はみられなかったが、給料生活、自営業、学生で相対的に高くなるが多かった。

毎号読んでいる週刊誌を自由・複数回答で尋ねた結果を次ページの**表4-4**に示す。すべての調査回において1位は『週刊少年ジャンプ』となった。2位は『週刊少年マガジン』が9回、『週刊ヤングマガジン』『週刊現代』が1回ずつとなっている。ほかは『週刊新潮』『週刊少年サンデー』などがランクイン常連となっており、漫画雑誌が多くランクインする傾向が見られた。

表4-3 毎号読む週刊誌読書率の変遷

毎号読む週刊誌(%)	サンプル数	全体	性別		年齢別								職業別					
			男 性	女 性	16	20	30	40	50	60	70	農 業	給 料 生 活	主 婦	自 営 業	学 生	無 職	
					5	9	19	29	39	49	59							69
2013年(68回)	847	5	9	1	3	13	6	8	6	2	3	3	8	1	6	3	3	
2014年(69回)	867	6	8	4	10	16	13	5	5	2	2	3	7	4	10	9	5	
2015年(70回)	838	5	8	2	18	10	8	7	3	2	2	4	5	4	9	20	1	
2016年(71回)	863	5	6	4	7	3	8	9	3	4	3	2	6	3	10	6	4	
2017年(72回)	878	5	9	3	4	6	9	11	3	3	4	4	7	3	3	-	6	
2018年(73回)	852	4	7	1	6	4	7	5	2	2	3	1	5	1	3	3	5	
2019年(74回)	841	4	6	2	16	10	7	6	3	2	1	3	4	1	5	17	4	
2020年(75回)	824	3	5	2	10	3	6	6	3	1	2	3	4	1	5	6	3	
2021年(76回)	816	5	7	3	11	6	8	7	6	2	2	2	7	4	6	7	2	
2022年(77回)	836	4	5	2	9	5	5	7	3	2	2	3	5	1	6	5	2	
2023年(78回)	761	2	4	1	4	2	3	7	1	1	2	1	3	-	6	6	2	

表4-4 読んでいる週刊誌(毎号読む)の変遷

(自由・複数回答)

2023年		2022年		2021年	
1	週刊少年ジャンプ	1	週刊少年ジャンプ	1	週刊少年ジャンプ
2	週刊ヤングマガジン	2	週刊少年マガジン	2	週刊現代
2	週刊少年サンデー	3	週刊文春	2	週刊文春
4	週刊文春	3	女性自身	4	週刊少年サンデー
4	週刊少年チャンピオン	5	週刊ヤングジャンプ	4	週刊少年マガジン
4	週刊ヤングジャンプ			4	週刊新潮
4	週刊少年マガジン				
4	女性セブン				
4	週刊女性				
2020年		2019年		2018年	
1	週刊少年ジャンプ	1	週刊少年ジャンプ	1	週刊少年ジャンプ
2	週刊少年マガジン	2	週刊少年マガジン	2	週刊少年マガジン
3	週刊ヤングマガジン	3	週刊文春	3	週刊ポスト
4	週刊ポスト	4	週刊ファミ通	4	週刊文春
4	週刊ヤングジャンプ	4	週刊ポスト	5	週刊ファミ通
4	週刊現代	4	週刊ヤングジャンプ	5	週刊ヤングマガジン
4	週刊新潮	4	週刊ヤングマガジン	5	週刊現代
4	週刊朝日	4	週刊少年サンデー	5	週刊少年サンデー
		4	週刊新潮	5	週刊新潮
2017年		2016年		2015年	
1	週刊少年ジャンプ	1	週刊少年ジャンプ	1	週刊少年ジャンプ
2	週刊少年マガジン	2	週刊少年マガジン	2	週刊少年マガジン
3	週刊ヤングマガジン	2	週刊文春	3	週刊ヤングジャンプ
3	週刊文春	4	モーニング	4	週刊ポスト
5	週刊新潮	4	女性セブン	4	週刊金曜日
				4	週刊現代
				4	週刊新潮
				4	週刊文春
				4	女性自身
				4	日経ビジネス
2014年		2013年			
1	週刊少年ジャンプ	1	週刊少年ジャンプ		
2	週刊少年マガジン	2	週刊少年マガジン		
3	週刊ヤングマガジン	3	週刊少年サンデー		
4	週刊少年サンデー	4	週刊現代		
5	週刊現代	5	週刊朝日		

★ときどき読む週刊誌について

ときどき読む週刊誌読書率について、属性別の結果を表4-5に示す。男女別ではすべての調査回において女性が男性を上回っている。

年齢別では60代以上で高い傾向が見られる。

職業別では農業、主婦、自営業、無職で高くなるが多かった。

表4-5 ときどき読む週刊誌読書率の変遷

ときどき読む週刊誌(%)	サンプル数	全体	性別		年齢別						職業別						
			男	女	16	20	30	40	50	60	70	農	給	主	自	学	無
			性	性	歳	歳	歳	歳	歳	歳	歳	業	料	婦	営	生	職
2013年(68回)	847	24	20	29	12	19	15	24	26	28	28	29	21	26	35	20	23
2014年(69回)	867	24	23	24	17	10	18	20	24	35	24	28	23	19	32	12	25
2015年(70回)	838	24	22	26	5	17	16	13	33	27	32	24	21	29	31	8	30
2016年(71回)	863	25	24	26	-	25	20	17	25	29	36	37	24	26	22	6	23
2017年(72回)	878	24	23	25	19	12	16	17	29	32	22	27	21	31	31	13	22
2018年(73回)	852	21	19	24	6	4	13	14	25	24	33	26	16	30	24	3	28
2019年(74回)	841	20	18	22	-	10	7	15	20	24	30	28	15	28	16	4	25
2020年(75回)	824	24	22	25	19	7	9	15	27	25	40	34	21	24	14	16	28
2021年(76回)	816	23	20	25	11	16	18	12	20	20	37	29	18	26	26	10	27
2022年(77回)	836	17	15	19	3	14	10	9	16	22	25	18	16	21	23	5	21
2023年(78回)	761	19	18	19	9	18	6	14	12	21	30	23	14	27	15	10	29

ときどき読む週刊誌を自由・複数回答で尋ねた結果を次ページの表4-6に示す。1位は『女性自身』が7回、『週刊文春』が4回、『女性セブン』が1回となった。『女性自身』と『女性セブン』はすべての調査回でランクインしたほか、『週刊現代』『週刊女性』などがランクイン常連となっている。

表4-6 読んでいる週刊誌（ときどき読む）の変遷

(自由・複数回答)

2023年		2022年		2021年	
1	週刊文春	1	女性セブン	1	週刊文春
2	女性セブン	2	女性自身	2	女性セブン
3	女性自身	3	週刊文春	3	女性自身
4	週刊少年ジャンプ	4	週刊女性	4	週刊新潮
4	週刊新潮	5	週刊現代	5	週刊少年ジャンプ
2020年		2019年		2018年	
1	週刊文春	1	女性自身	1	女性自身
1	女性自身	2	週刊文春	2	週刊現代
3	女性セブン	2	女性セブン	3	週刊文春
4	週刊現代	4	週刊新潮	4	女性セブン
5	週刊女性	5	週刊現代	5	週刊女性
2017年		2016年		2015年	
1	週刊文春	1	女性自身	1	女性自身
2	女性自身	2	週刊文春	2	女性セブン
3	女性セブン	3	女性セブン	3	週刊現代
4	週刊現代	4	週刊現代	4	週刊ポスト
5	週刊ポスト	5	週刊女性	4	週刊女性
5	週刊新潮				
2014年		2013年			
1	女性自身	1	女性自身		
2	週刊現代	2	週刊現代		
3	女性セブン	3	週刊文春		
4	週刊女性	4	女性セブン		
5	週刊少年ジャンプ	5	週刊女性		

★同一誌を毎号読む（定期購読）週刊誌について

同一誌を毎号読む（定期購読）週刊誌読書率について、属性別の結果を表4-7に示す。男女別ではすべての調査回において男性が女性を上回っている。

年齢別では10代～40代で高い傾向が見られる。60代以上は低調である。

職業別では全体の読書率が低いため、大きな差は見られなかったが、給料生活、自営業、学生で相対的に高くなるが多かった。

これらの傾向は毎号読む週刊誌の読書率とまったく同様である。

表4-7 定期購読週刊誌読書率の変遷

定期購読週刊誌(%)	サン プル 数	全 体	性別		年齢別							職業別					
			男 性	女 性	16	20	30	40	50	60	70	農 業	給 料 生 活	主 婦	自 営 業	学 生	無 職
					5	5	5	5	5	5	5						
2013年(68回)	847	5	9	1	3	13	6	7	6	1	3	3	8	1	5	3	3
2014年(69回)	867	6	8	4	10	16	13	4	5	2	2	3	7	4	10	9	5
2015年(70回)	838	5	8	2	18	10	8	7	3	2	2	4	5	4	9	20	1
2016年(71回)	863	4	6	3	7	3	8	8	3	3	2	2	5	3	8	6	3
2017年(72回)	878	5	9	3	4	6	8	11	3	3	4	3	7	3	3	-	6
2018年(73回)	852	3	6	-	6	4	7	5	2	1	3	1	5	1	3	3	3
2019年(74回)	841	4	6	1	16	8	7	6	2	2	1	3	4	-	5	17	4
2020年(75回)	824	3	5	2	10	3	6	6	3	1	2	3	4	1	5	6	3
2021年(76回)	816	4	6	2	11	6	8	7	6	1	1	-	7	3	6	7	2
2022年(77回)	836	3	5	2	9	5	5	7	3	2	1	3	4	1	6	5	2
2023年(78回)	761	2	3	1	4	2	3	6	1	1	2	1	3	-	6	6	2

★週刊誌を読む目的・理由の推移

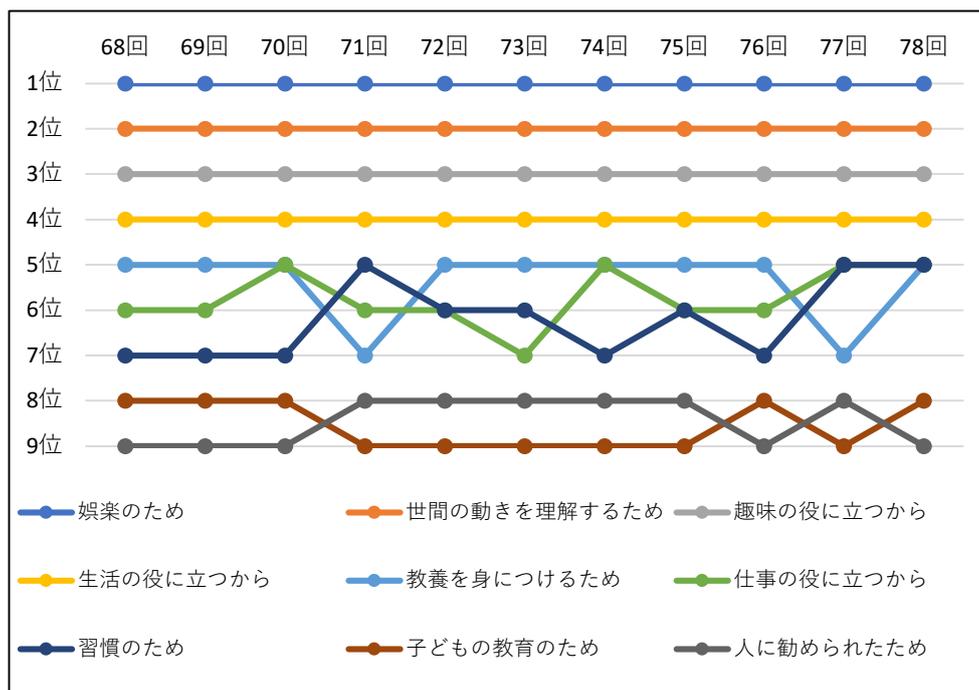
週刊誌を読む人へ、週刊誌を読む目的・理由について質問した結果の推移を表4-8に、順位の変遷を図4-2に示す。すべての調査回において「娯楽のため」が1位、「世間の動きを理解するため」が2位、「趣味の役に立つから」が3位、「生活の役に立つから」が4位となった。

その他の目的・理由については、「教養を身につけるため」、「仕事の役に立つから」、「習慣のため」がつねに中位（5～7位）、「子どもの教育のため」、「人に勧められたため」がつねに低位（8～9位）となっている。

表4-8 週刊誌を読む目的・理由の変遷

週刊誌を読む目的・理由(%) <複数回答>	サンプル数	選択肢別								
		娯楽のため	世間の動きを理解するため	趣味の役に立つから	生活の役に立つから	教養を身につけるため	仕事の役に立つから	習慣のため	子どもの教育のため	人に勧められたため
2013年(68回)	250	60	38	24	16	8	8	8	1	-
2014年(69回)	259	68	27	20	10	7	6	4	1	-
2015年(70回)	243	62	37	25	14	7	7	7	1	-
2016年(71回)	260	63	35	21	18	8	8	9	-	1
2017年(72回)	257	61	33	18	13	6	5	5	-	0
2018年(73回)	212	56	41	19	12	8	5	7	0	2
2019年(74回)	199	63	32	25	15	8	8	4	-	2
2020年(75回)	222	61	48	23	21	9	7	7	0	1
2021年(76回)	222	62	36	21	18	8	6	5	0	-
2022年(77回)	176	56	39	22	16	5	7	7	1	1
2023年(78回)	161	57	37	28	17	7	7	7	1	-

図4-2 週刊誌を読む目的・理由の順位の変遷



注) 順位については小数点以下の値も考慮している。

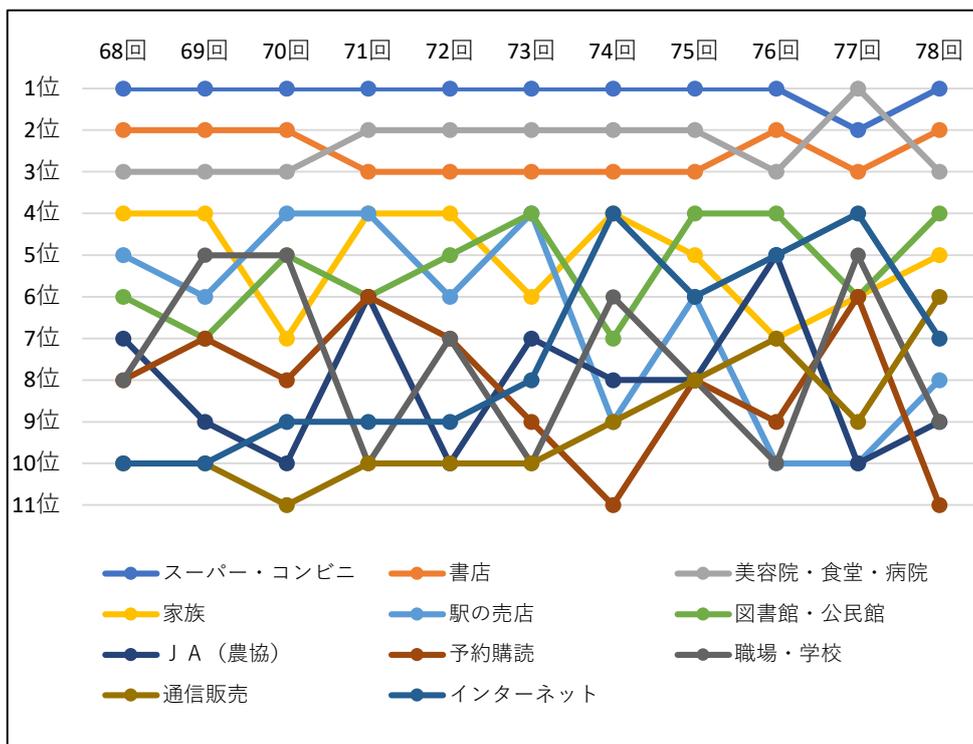
★週刊誌の購入先または借覧先と入手方法の推移

週刊誌を読む人へ、購入先または借覧先と入手方法について質問した結果の推移を表4-9に、順位の推移を図4-3に示す。1位は「スーパー・コンビニ」が10回、「美容院・食堂・病院」が1回となった。「書店」はつねに3位以内となっている。その他の選択肢はすべての調査回で6%以下となっており、順位も大きく変動している。

表4-9 週刊誌の購入先または借覧先と入手方法の変遷

週刊誌の購入先または借覧先と入手方法(%) <複数回答>	サンプル数	選択肢別										
		スーパー・コンビニ	書店	美容院・食堂・病院	家族	駅の売店	図書館・公民館	J A (農協)	予約購読	職場・学校	通信販売	インターネット
2013年(68回)	250	49	39	34	5	4	3	2	2	2	1	1
2014年(69回)	259	51	37	36	4	2	2	1	2	3	0	0
2015年(70回)	243	49	40	38	2	5	3	1	2	3	-	1
2016年(71回)	260	46	38	41	2	2	2	2	2	1	1	2
2017年(72回)	257	48	31	38	4	3	4	0	3	3	0	1
2018年(73回)	212	45	30	39	3	3	3	2	1	1	1	2
2019年(74回)	199	42	34	40	4	2	3	2	-	3	2	4
2020年(75回)	222	46	38	43	4	2	4	1	1	1	1	2
2021年(76回)	222	46	38	32	2	0	6	5	1	0	2	5
2022年(77回)	176	38	31	38	2	-	2	-	2	4	2	6
2023年(78回)	161	47	39	35	6	1	7	1	-	1	2	2

図4-3 週刊誌の購入先または借覧先と入手方法の順位の推移



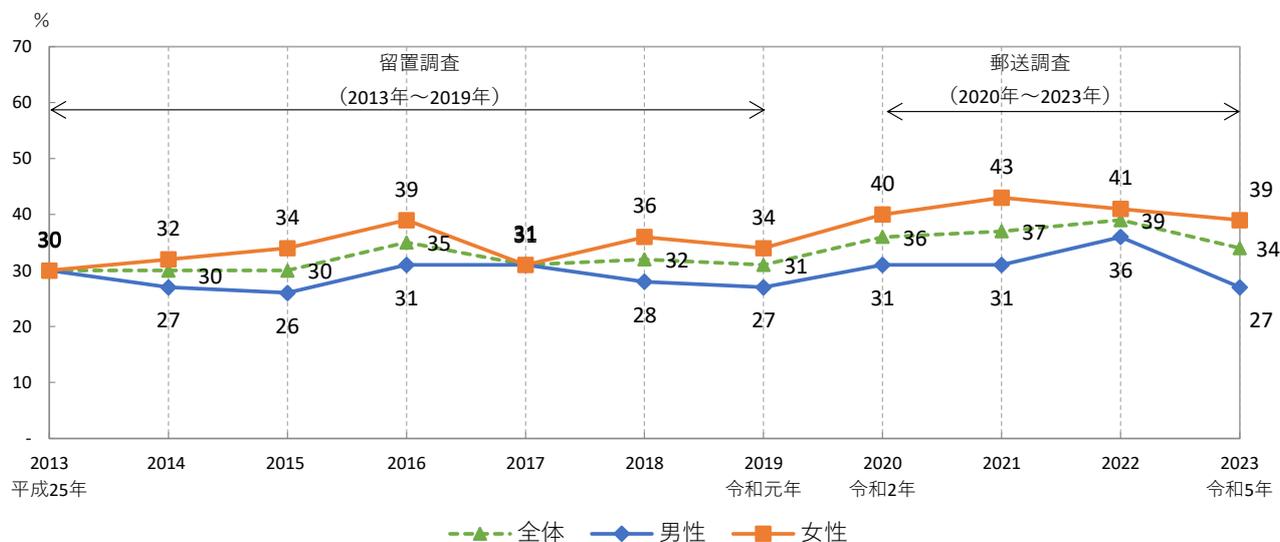
注) 順位については小数点以下の値も考慮している。

書籍についての変遷

★書籍読書率の推移

書籍読書率の推移を図5-1に示す。2013年の30%からはほぼ同じ割合で推移していたが、郵送調査となった2020年以降は回復傾向にあり、35%を超えることが多くなった。男女別では2013年、2017年を除き、女性が男性を上回っている。直近の2023年調査では12ポイントの差となっている。

図5-1 書籍読書率の経年比較



書籍読書率について、属性別の結果を表5-1に示す。

年齢別では10代から50代で高い傾向が見られる。

職業別では学生、給料生活、主婦で高い傾向が見られ、農業や無職では低くなるが多かった。

表5-1 書籍読書率の変遷

書籍読書率(%)	サンプル数	全体	性別		年齢別							職業別					
			男 性	女 性	16	20	30	40	50	60	70	農 業	給 料 生 活	主 婦	自 営 業	学 生	無 職
					19	29	39	49	59	69	79						
2013年(68回)	847	30	30	30	52	38	38	39	31	21	22	20	33	28	32	57	30
2014年(69回)	867	30	27	32	60	45	29	32	25	29	21	18	32	30	33	48	30
2015年(70回)	838	30	26	34	64	39	37	33	32	25	18	19	30	32	34	72	32
2016年(71回)	863	35	31	39	59	45	41	43	33	28	29	28	39	34	31	63	29
2017年(72回)	878	31	31	31	50	44	34	32	35	26	22	19	34	35	25	42	29
2018年(73回)	852	32	28	36	55	42	33	33	38	30	21	19	33	33	38	55	31
2019年(74回)	841	31	27	34	58	42	39	32	34	26	21	27	31	29	34	67	24
2020年(75回)	824	36	31	40	67	54	34	44	44	29	24	19	41	38	33	63	34
2021年(76回)	816	37	31	43	63	51	45	43	42	31	29	22	44	43	30	72	31
2022年(77回)	836	39	36	41	67	55	44	42	38	34	31	30	40	42	36	64	32
2023年(78回)	761	34	27	39	57	36	44	51	33	28	24	23	39	34	26	58	26

★半年間に読んだ書籍、好きな作家・著者の推移

半年間に読んだ書籍を自由・複数回答で尋ねた結果を次ページの表5-2に示す。月刊誌や週刊誌と比べ、書籍は移り変わりが激しいが、そのなかでも『ONE PIECE』は1位が6回と最多であり、11回中10回のランクインとなっている。複数回1位となったのは、ほかに2015年から2017年まで3回連続の『火花』、2021年と2023年の『呪術廻戦』があった。また、2018年は『君たちはどう生きるか』、2021年は『鬼滅の刃』が1位（『呪術廻戦』と同率）となっている。

ランクイン回数が多かった書籍としては、そのほか『進撃の巨人』（6回）、『永遠の0』（5回）、『キングダム』『置かれた場所で咲きなさい』（それぞれ4回）などが挙がっていた。

関連して、好きな作家・著者を自由・複数回答で尋ねた結果を37ページの表5-3に示す。すべての調査回で東野圭吾が1位であり、これ以前の2009年から15年連続で1位となった。

宮部みゆき、赤川次郎もすべての調査回でランクインをしている。そのほかランクイン回数が多かったのは村上春樹（9回）、司馬遼太郎、湊かなえ（いずれも8回）、池井戸潤（7回）、松本清張（6回）などとなっている。

表5-2 読んでいる書籍の変遷

(自由・複数回答)

2023年		2022年		2021年	
1	ONE PIECE	1	ONE PIECE	1	鬼滅の刃
1	呪術廻戦	2	呪術廻戦	1	呪術廻戦
3	鬼滅の刃	3	キングダム	3	ONE PIECE
4	流浪の月	3	東京卍リベンジャーズ	3	東京卍リベンジャーズ
5	流人道中記	5	ハイキュー!!	5	そして、バトンは渡された
6	20代で得た知見	5	鬼滅の刃	5	進撃の巨人
6	SPY×FAMILY	5	三千万の使いかた	7	SPY×FAMILY
6	ハヤブサ消防団	5	転生したらスライムだった件	7	キングダム
6	告白	9	80歳の壁	7	ゲッターズ飯田の五星三心占い
6	坂の上の雲	9	そして、バトンは渡された	7	夏目友人帳
6	汝、星のごとく	9	人は話し方が9割	7	怪獣8号
		9	僕のヒーローアカデミア	7	菓屋のひとりごと
2020年		2019年		2018年	
1	ONE PIECE	1	ONE PIECE	1	君たちはどう生きるか
2	鬼滅の刃	2	一切なりゆき 樹木希林のことは	2	ONE PIECE
3	進撃の巨人	3	キングダム	2	九十歳。何がめでたい
4	キングダム	3	九十歳。何がめでたい	4	おらおらでひとりいぐも
5	ハイキュー!!	3	名探偵コナン	5	ハイキュー!!
6	嫌われる勇氣ー自己啓発の源流「アドラー」の教え	6	そして、バトンは渡された	5	君の膵臓をたべたい
7	ケーキの切れない非行少年たち	6	ハリー・ポッターシリーズ	5	大家さんと僕
8	「気がつきすぎて疲れる」が驚くほどなくなる「織細さん」の本	6	陰陽師	8	火花
8	あしたの君へ	6	君たちはどう生きるか	8	春雷
8	一切なりゆき 樹木希林のことは	6	七つの大罪	8	魔力の胎動
8	居眠り聲音シリーズ	6	樹木希林 120の遺言 死ぬときぐらい好きにさせてよ	8	蜜蜂と遠雷
8	君の膵臓をたべたい	6	日本国紀	8	羊と鋼の森
8	十二国記シリーズ	6	蜜蜂と遠雷	8	蝸ノ記
8	少年と犬				
8	星の王子さま				
8	本所おけら長屋シリーズ				
8	約束のネバーランド				
8	菓屋のひとりごと				
8	流浪の月				
2017年		2016年		2015年	
1	火花	1	火花	1	火花
2	君の膵臓をたべたい	2	ONE PIECE	2	ONE PIECE
3	アキラとあきら	3	ハイキュー!!	3	フランス人は10着しか服を持たない
3	リバース	3	永遠の0	4	永遠の0
3	九十歳。何がめでたい	3	植物図鑑	4	進撃の巨人
3	蜜蜂と遠雷	6	天才	4	置かれた場所で咲きなさい
7	HUNTER×HUNTER	7	BLEACH〜ブリーチ〜	7	BLEACH〜ブリーチ〜
7	海賊とよばれた男	7	アルスラーン戦記シリーズ	7	禁断の魔術
7	置かれた場所で咲きなさい	7	田中角栄100の言葉	7	鹿の王
10	ナミヤ雑貨店の奇蹟	10	64 (ロクヨン)	7	神様のカルテ
10	永遠の0	10	NARUTO	7	聞く力
10	君の名は。	10	なぜ生きる		
10	儒教に支配された中国人と韓国人の悲劇	10	下町ロケット		
10	心霊探偵八雲	10	進撃の巨人		
10	忍びの国	10	図書館戦争		
		10	置かれた場所で咲きなさい		
		10	東京喰種：re		
2014年		2013年			
1	ONE PIECE	1	ONE PIECE		
2	永遠の0	2	永遠の0		
3	進撃の巨人	3	真夏の方程式		
4	親鸞	3	聞く力		
4	置かれた場所で咲きなさい	5	IQ84		
6	くじけないで	5	HUNTER×HUNTER		
6	海賊とよばれた男	5	NARUTO		
6	鬼灯の冷徹	5	「居眠り聲音江戸双紙」シリーズ		
6	神様のカルテ	5	銀の匙		
6	生き方	5	色彩を持たない多崎つくると、彼の巡礼の年		
6	名探偵コナン	5	進撃の巨人		

表5-3 好きな作家・著者の変遷

(自由・複数回答)

2023年		2022年		2021年		2020年	
1	東野 圭吾						
2	湊 かなえ	2	宮部 みゆき	2	赤川 次郎	2	宮部 みゆき
3	宮部 みゆき	3	林 真理子	3	西村 京太郎	2	湊 かなえ
4	尾田 栄一郎	4	湊 かなえ	4	宮部 みゆき	4	赤川 次郎
5	司馬 遼太郎	5	松本 清張	4	池井戸 潤	5	村上 春樹
5	浅田 次郎	6	司馬 遼太郎	6	松本 清張	5	池井戸 潤
7	西村 京太郎	6	池井戸 潤	6	藤沢 周平	7	五木 寛之
7	赤川 次郎	8	赤川 次郎	6	内田 康夫	7	司馬 遼太郎
7	池井戸 潤	9	村上 春樹	6	百田 尚樹	7	西村 京太郎
7	林 真理子	10	星 新一	6	有川 浩	7	尾田 栄一郎
2019年		2018年		2017年		2016年	
1	東野 圭吾						
2	池井戸 潤	2	宮部 みゆき	2	湊 かなえ	2	宮部 みゆき
3	司馬 遼太郎	3	湊 かなえ	3	西村 京太郎	3	赤川 次郎
4	村上 春樹	4	松本 清張	4	宮部 みゆき	3	有川 浩
5	宮部 みゆき	5	司馬 遼太郎	5	赤川 次郎	5	司馬 遼太郎
5	赤川 次郎	5	西村 京太郎	6	村上 春樹	6	湊 かなえ
7	尾田 栄一郎	5	村上 春樹	6	池井戸 潤	7	西村 京太郎
7	湊 かなえ	8	赤川 次郎	6	藤沢 周平	7	村上 春樹
9	西村 京太郎	8	有川 浩	9	佐藤 愛子	7	池波 正太郎
10	山崎 豊子	10	佐伯 泰英	9	山本 周五郎	7	尾田 栄一郎
				9	司馬 遼太郎	7	百田 尚樹
				9	林 真理子		
2015年		2014年		2013年			
1	東野 圭吾	1	東野 圭吾	1	東野 圭吾		
2	宮部 みゆき	2	五木 寛之	2	宮部 みゆき		
3	松本 清張	2	西村 京太郎	3	赤川 次郎		
3	西村 京太郎	2	赤川 次郎	4	内田 康夫		
3	村上 春樹	5	有川 浩	5	西村 京太郎		
6	司馬 遼太郎	6	松本 清張	6	浅田 次郎		
6	藤沢 周平	7	宮部 みゆき	6	村上 春樹		
8	赤川 次郎	8	山崎 豊子	8	五木 寛之		
8	内田 康夫	8	村上 春樹	9	伊坂 幸太郎		
8	湊 かなえ	8	池井戸 潤	9	佐伯 泰英		
				9	松本 清張		
				9	藤沢 周平		

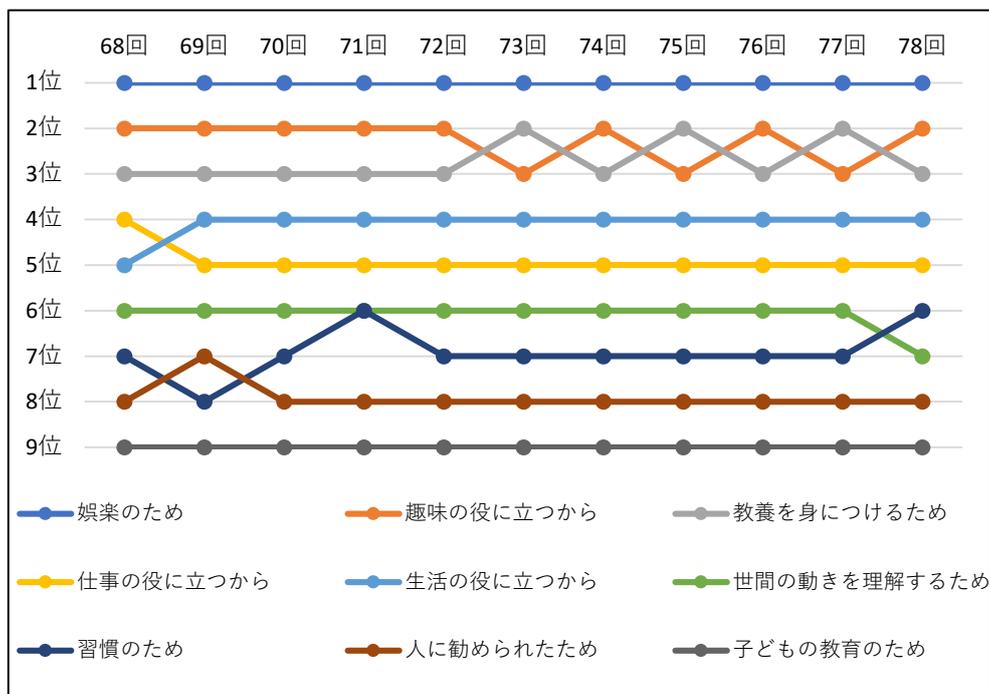
★書籍を読む目的・理由の推移

半年間に書籍を読んだ人へ、書籍を読む目的・理由について質問した結果の推移を表5-4に、順位の推移を図5-2に示す。すべての調査回において「娯楽のため」が1位となった。2位と3位は「趣味の役に立つから」と「教養を身につけるため」のいずれかとなっている。また2014年以降、10年連続で4位は「生活の役に立つから」、5位は「仕事の役に立つから」となった。その他の目的・理由についても順位はほぼ一定となっている。

表5-4 書籍を読む目的・理由の変遷

書籍を読む目的・理由(%) <複数回答>	サンプル数	選択肢別								
		娯楽のため	趣味の役に立つ	教養を身につける	仕事の役に立つ	生活の役に立つ	世間の動きを理解するため	習慣のため	人に勧められた	子どもの教育のため
2013年(68回)	255	64	32	26	20	18	14	9	7	4
2014年(69回)	260	60	29	22	15	20	11	9	10	4
2015年(70回)	250	60	31	24	17	21	10	8	7	4
2016年(71回)	303	66	28	26	17	21	9	9	9	5
2017年(72回)	272	61	34	24	16	20	11	10	4	4
2018年(73回)	272	65	25	27	11	21	8	8	7	4
2019年(74回)	258	62	40	28	17	23	10	7	6	5
2020年(75回)	300	69	30	31	20	25	13	10	8	4
2021年(76回)	305	66	35	32	14	23	11	9	6	4
2022年(77回)	325	68	28	30	18	23	10	8	7	6
2023年(78回)	257	67	32	30	16	18	9	12	7	5

図5-2 書籍を読む目的・理由の順位の推移



注) 順位については小数点以下の値も考慮している。

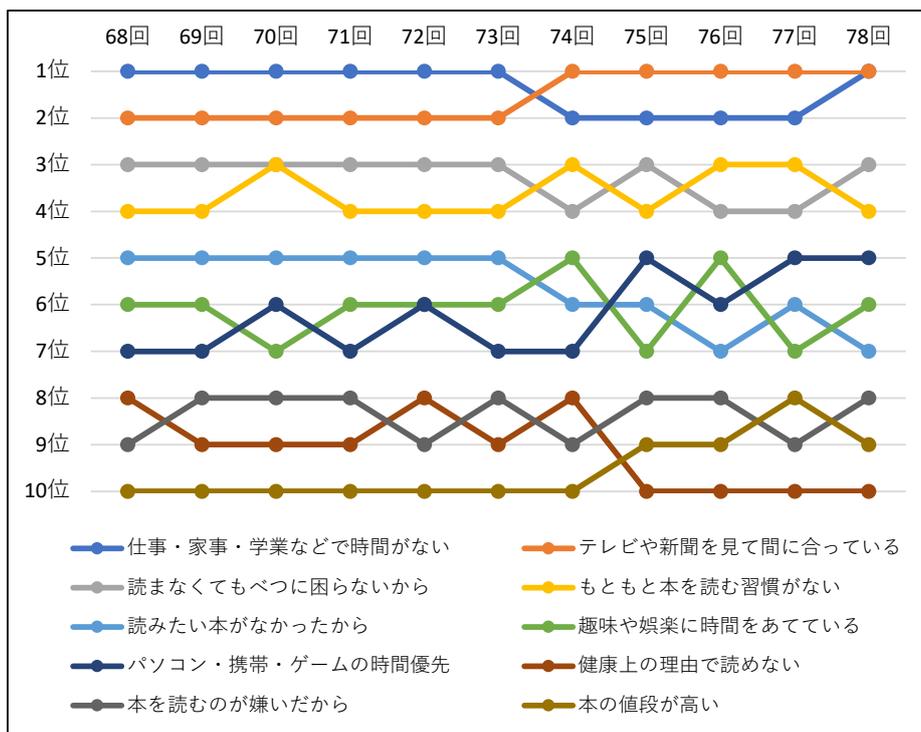
★半年間に書籍を読まなかった理由の推移

半年間に書籍を読まなかった人へ、理由について質問した結果の推移を表5-5に、順位の推移を図5-3に示す。すべての調査回において「仕事・家事・学業などで時間がない」、「テレビや新聞を見て間に合っている」が1位あるいは2位となった。これらに加えて、「読まなくてもべつに困らないから」、「もともと本を読む習慣がない」が高位（1～4位）、「読みたい本がなかったから」、「趣味や娯楽に時間をあてている」、「パソコン・携帯・ゲームの時間優先」が中位（5～7位）、「健康上の理由で読めない」、「本を読むのが嫌いだから」、「本の値段が高い」が低位（8～10位）と分類できる。

表5-5 半年間に書籍を読まなかった理由の変遷

半年間に書籍を読まなかった理由(%) <複数回答>	サンプル数	選択肢別									
		仕事・家事・学業などで時間がない	テレビや新聞を見て間に合っている	読まなくてもべつに困らないから	もともと本を読む習慣がない	読みたい本がなかったから	趣味や娯楽に時間をあてている	パソコン・携帯・ゲームの時間優先	健康上の理由で読めない	本を読むのが嫌いだから	本の値段が高い
2013年(68回)	592	46	42	29	29	14	12	9	6	6	3
2014年(69回)	607	50	41	31	26	13	11	8	5	6	3
2015年(70回)	588	48	44	29	29	15	11	11	6	6	5
2016年(71回)	560	45	40	29	28	15	13	9	6	9	4
2017年(72回)	606	46	39	28	27	15	11	11	6	5	3
2018年(73回)	580	46	38	29	28	13	13	11	5	6	3
2019年(74回)	583	41	42	28	28	15	16	14	6	6	3
2020年(75回)	522	42	44	31	29	16	15	16	4	7	7
2021年(76回)	509	39	49	30	30	14	20	19	4	7	6
2022年(77回)	509	41	43	28	31	17	15	19	5	5	6
2023年(78回)	500	41	41	28	26	14	18	22	3	7	6

図5-3 半年間に書籍を読まなかった理由の順位の推移



注) 順位については小数点以下の値も考慮している。

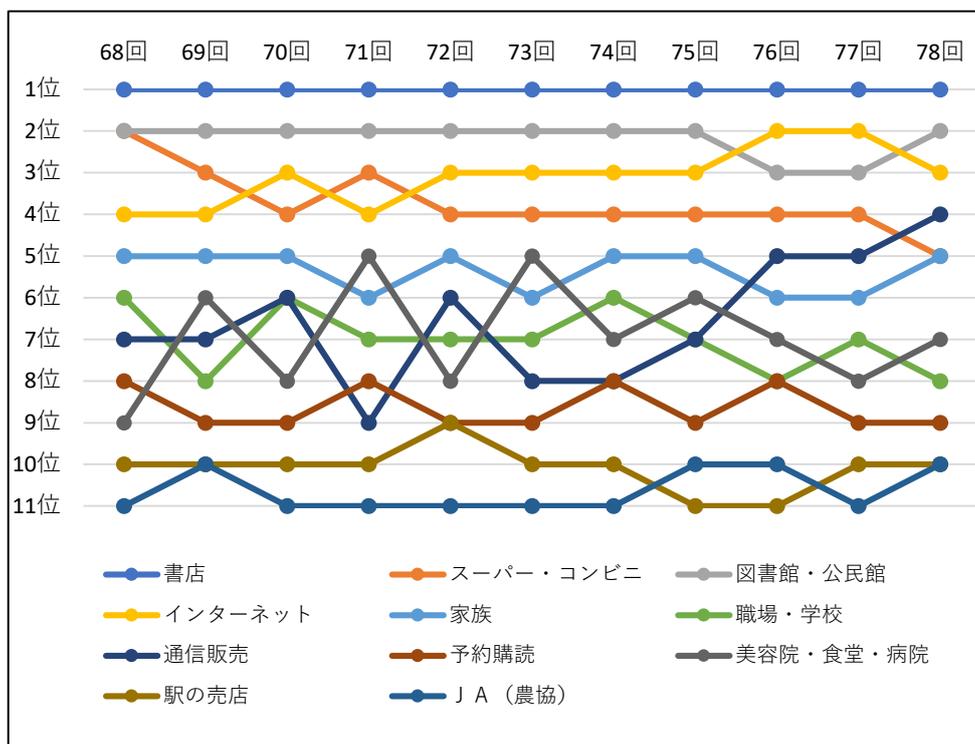
★書籍の購入先または借覧先と入手方法の推移

半年間に書籍を読んだ人へ、購入先または借覧先と入手方法について質問した結果の推移を表5-6に、順位の推移を図5-4に示す。すべての調査回で1位は「書店」であり、割合も他を圧倒している。「図書館・公民館」や「インターネット」もつねに上位となっており、近年では「通信販売」の順位も上昇している。いっぽう、「スーパー・コンビニ」は順位も割合もいずれも低下している。「駅の売店」、「JA（農協）」はいずれの回でも2%以下となった。

表5-6 書籍の購入先または借覧先と入手方法の変遷

書籍の購入先または借覧先と入手方法(%) <複数回答>	サン プル 数	選択肢別										
		書店	スーパー・ コンビニ	図書館・ 公民館	イン ター ネ ット	家 族	職 場 ・ 学 校	通 信 販 売	予 約 購 読	病 院 美 容 院 ・ 食 堂	駅 の 売 店	J A (農 協)
2013年(68回)	255	83	21	21	15	5	5	4	3	2	2	0
2014年(69回)	260	82	17	18	11	10	4	6	1	7	1	1
2015年(70回)	250	80	14	21	14	6	4	4	2	3	2	1
2016年(71回)	303	78	17	19	16	4	3	2	3	6	2	1
2017年(72回)	272	76	16	21	17	6	4	4	1	3	1	1
2018年(73回)	272	81	11	24	20	4	4	3	2	5	1	-
2019年(74回)	258	78	17	22	18	8	5	3	3	4	2	2
2020年(75回)	300	77	12	27	24	7	4	4	3	5	1	2
2021年(76回)	305	78	10	22	25	6	4	8	4	6	-	0
2022年(77回)	325	73	10	22	26	5	4	7	2	2	1	-
2023年(78回)	257	74	8	33	30	8	3	9	2	5	0	0

図5-4 書籍の購入先または借覧先と入手方法の順位の推移



注) 順位については小数点以下の値も考慮している。

★1か月間に読んだ書籍の平均冊数の推移

半年間に書籍を読まなかった人も含めた全員の、1か月間に読んだ書籍の平均冊数の推移を表5-7に、さらに1か月間に1冊以上読んだ人に限定して算出した平均冊数の推移を表5-8に示す。

1か月間に読んだ書籍の平均冊数は1冊程度となった。1冊以上に読んだ人に限定すると平均4冊強程度となっている。

男女別では特定の傾向は見られない。

年齢別では10代から40代で高い傾向が見られる。逆に60代以上ではすべての調査回で低い傾向にある。

職業別では給料生活や自営業、学生で高くなっている。

表5-7 1か月間に読んだ書籍の平均冊数の変遷

1か月間に読んだ書籍の 平均冊数（冊） ＜全員＞	サ ン プ ル 数 （ 人 ）	全 体	性別		年齢別							職業別					
			男 性	女 性	16	20	30	40	50	60	70	農 業	給 料 生 活	主 婦	自 営 業	学 生	無 職
					19	29	39	49	59	69	79						
2013年(68回)	847	0.9	1.1	0.8	3.1	1.4	2.0	1.4	0.6	0.4	0.5	0.4	1.1	0.8	0.9	2.8	0.9
2014年(69回)	867	0.8	0.7	0.8	2.5	2.2	0.5	1.1	0.5	0.5	0.4	0.4	1.0	0.4	1.4	1.7	0.5
2015年(70回)	838	0.9	0.8	1.1	3.8	1.5	0.9	1.0	1.3	0.5	0.4	0.6	0.7	1.8	0.9	3.8	0.6
2016年(71回)	863	1.1	1.1	1.1	3.8	2.5	1.5	1.6	0.5	0.6	0.6	0.5	1.3	0.9	0.6	4.8	0.8
2017年(72回)	878	0.9	1.0	0.8	1.0	1.2	1.3	1.0	1.0	0.7	0.7	0.6	1.0	0.9	1.7	0.7	0.6
2018年(73回)	852	1.0	1.2	0.8	5.7	1.0	0.7	1.2	0.9	0.7	0.6	0.6	1.2	0.7	1.6	1.8	0.8
2019年(74回)	841	0.9	0.8	1.0	0.7	1.3	2.2	0.9	1.0	0.6	0.3	0.7	1.0	0.6	1.4	0.8	0.8
2020年(75回)	824	1.2	1.4	1.1	4.3	2.3	0.7	2.1	1.4	0.8	0.5	0.7	1.4	0.6	2.1	3.0	1.1
2021年(76回)	816	1.4	1.0	1.8	0.7	3.8	2.5	2.0	1.1	1.2	0.6	0.9	1.8	1.7	1.5	1.0	1.0
2022年(77回)	836	1.4	1.4	1.4	4.9	1.5	2.6	1.9	1.4	0.8	0.6	0.4	1.7	1.0	1.5	3.1	1.2
2023年(78回)	761	1.4	1.0	1.8	4.2	1.1	1.6	3.7	1.5	0.6	0.7	0.3	1.8	1.1	0.7	3.4	1.6

表5-8 1か月間に読んだ書籍の平均冊数の変遷(1冊以上の人に限定)

1か月間に読んだ書籍の 平均冊数（冊） ＜読んだ人＞	サ ン プ ル 数 （ 人 ）	全 体	性別		年齢別							職業別					
			男 性	女 性	16	20	30	40	50	60	70	農 業	給 料 生 活	主 婦	自 営 業	学 生	無 職
					19	29	39	49	59	69	79						
2013年(68回)	200	4.3	4.8	3.7	7.5	4.4	6.6	4.5	2.9	2.9	3.3	2.4	4.4	4.7	4.4	6.3	4.1
2014年(69回)	197	3.8	3.8	3.8	5.3	7.6	3.1	4.5	2.9	2.6	2.5	3.3	4.3	1.8	5.1	5.4	2.5
2015年(70回)	197	4.1	3.6	4.4	8.8	5.9	3.0	4.4	5.1	2.7	2.5	4.4	3.0	8.1	3.5	7.9	2.3
2016年(71回)	230	4.4	4.9	4.0	8.2	6.8	4.9	5.6	2.1	3.3	3.1	2.4	4.4	4.3	2.7	9.9	4.2
2017年(72回)	206	4.2	4.5	3.9	2.8	3.6	5.3	4.7	4.4	3.4	5.0	5.3	4.1	3.2	9.2	2.7	2.7
2018年(73回)	202	4.6	6.3	3.4	14.1	4.2	3.5	5.8	3.7	3.1	4.1	4.6	5.3	3.2	5.2	4.5	3.5
2019年(74回)	193	4.1	3.9	4.2	2.0	4.2	8.0	3.9	4.2	3.2	2.5	4.4	4.2	2.9	5.2	2.3	4.4
2020年(75回)	226	4.7	6.2	3.9	10.1	6.0	3.0	7.5	4.2	3.7	2.8	3.9	4.9	2.4	7.9	8.0	4.6
2021年(76回)	246	5.0	3.8	5.8	2.0	9.5	8.1	6.3	3.2	4.8	2.8	5.6	5.3	5.5	5.0	2.1	3.9
2022年(77回)	252	4.9	5.1	4.7	8.8	4.4	7.5	5.7	5.2	3.1	2.9	2.6	5.6	3.0	5.2	6.3	4.7
2023年(78回)	204	5.6	4.5	6.1	9.3	3.8	4.6	10.9	6.2	3.0	3.5	1.9	6.3	4.4	3.1	7.9	7.0

1か月当たりの本代の変遷

本（月刊誌、週刊誌、書籍）を読まない人も含めた、全員の1か月平均の本代の推移を**表6-1**に、本を買った人に限定した1か月平均の本代の推移を**表6-2**に、それぞれの比較を次ページの**図6-1**に示す。2013年から2019年まではゆるやかに減少していたが、2020年から大きく回復し、以降金額は増加傾向にある。直近の2023年調査では全員の平均額が949円、買った人に限定した平均額が2,392円となった。

全員の場合と買った人に限定した場合それぞれについて、属性別の結果を見る。

全員の場合、男女別では男性が女性を上回る傾向にある。年齢別では30代から50代で高くなるが多かった。職業別ではすべての調査回において自営業が高い。また給料生活も高くなるが多かった。

買った人に限定した場合、男女別ではすべての調査回において男性が女性を上回っている。年齢別では特定の傾向は見られなかったが、2023年調査では30代が4,554円と突出して高くなっていた。職業別では自営業が高くなるが多かった。

表6-1 1か月当たりの本代の変遷

1か月間の本〔雑誌・書籍〕の 平均購入代金(円) ＜全員＞	サ ン プ ル 数	全 体	性別		年齢別						職業別						
			男	女	16	20	30	40	50	60	70	農	給	主	自	学	無
			性	性	歳	歳	歳	歳	歳	歳	歳						
2013年(68回)	847	794	961	631	709	764	1,464	827	917	502	772	514	1,040	645	903	510	583
2014年(69回)	867	731	721	741	529	1,143	825	1,138	702	587	435	530	803	575	1,363	685	501
2015年(70回)	838	717	824	626	1,079	1,181	831	700	861	556	523	504	794	537	1,291	1,041	624
2016年(71回)	863	783	865	712	615	1,105	915	988	708	745	551	674	947	642	841	764	511
2017年(72回)	878	690	760	632	771	579	758	699	727	713	586	666	687	774	904	817	456
2018年(73回)	852	693	760	632	1,335	596	506	1,026	739	605	532	726	705	511	1,082	669	581
2019年(74回)	841	637	696	576	394	511	857	641	773	694	394	534	622	516	866	455	783
2020年(75回)	824	825	924	752	1,956	882	701	891	985	737	639	800	834	547	1,236	1,470	804
2021年(76回)	816	922	946	900	310	883	1,162	862	1,043	882	880	758	1,076	819	1,358	620	722
2022年(77回)	836	882	882	882	1,361	656	1,122	1,128	1,201	749	505	491	1,063	916	1,328	996	611
2023年(78回)	761	949	1,012	902	728	840	1,836	1,314	768	775	800	642	1,034	716	1,346	784	1,100

表6-2 1か月当たりの本代の変遷(買った人に限定)

1か月間の本〔雑誌・書籍〕の 平均購入代金(円) ＜買った人＞	サ ン プ ル 数	全 体	性別		年齢別						職業別						
			男	女	16	20	30	40	50	60	70	農	給	主	自	学	無
			性	性	歳	歳	歳	歳	歳	歳	歳						
2013年(68回)	383	1,968	2,256	1,654	1,741	1,528	2,815	1,750	1,904	1,643	2,580	1,453	2,322	1,975	1,806	1,093	1,748
2014年(69回)	396	1,835	1,864	1,810	977	1,914	1,862	2,902	1,581	1,592	1,838	1,757	1,875	1,395	2,613	1,271	1,674
2015年(70回)	364	1,839	2,227	1,538	2,563	2,607	1,723	1,558	1,898	1,835	1,651	1,639	1,838	1,467	2,677	2,290	1,777
2016年(71回)	405	1,831	2,147	1,587	1,538	2,136	2,019	1,764	1,486	2,074	1,740	1,803	1,904	1,636	1,812	1,782	1,771
2017年(72回)	392	1,768	1,953	1,616	2,120	1,328	1,553	1,804	1,686	1,819	2,242	2,177	1,651	1,680	2,294	2,451	1,382
2018年(73回)	357	1,859	2,091	1,660	3,081	1,217	1,344	2,304	1,734	1,737	2,101	2,195	1,722	1,764	2,309	1,596	1,854
2019年(74回)	351	1,783	1,882	1,675	1,260	1,669	2,204	1,761	1,795	1,939	1,352	1,628	1,703	1,663	2,053	1,236	2,176
2020年(75回)	394	1,941	2,216	1,744	3,159	1,526	1,591	2,092	1,955	2,085	1,859	1,940	1,833	1,363	3,090	2,848	2,124
2021年(76回)	388	2,211	2,364	2,085	930	2,159	2,506	1,997	2,188	2,165	2,381	2,105	2,321	1,856	2,844	1,295	2,376
2022年(77回)	397	2,127	2,186	2,075	2,192	1,490	2,659	2,332	2,691	1,767	1,744	1,368	2,393	2,066	2,866	1,838	2,017
2023年(78回)	343	2,392	2,569	2,261	1,456	1,867	4,554	2,747	2,004	2,141	2,134	1,780	2,540	2,006	3,400	1,508	2,598

図6-1 1か月当たりの本代の経年比較



1か月間における1日平均のメディア接触時間

本（雑誌、書籍）・新聞・テレビ・ラジオ・インターネットの各メディアについて、1か月間における1日平均のメディア接触時間の推移を図7-1に、各メディアに接触した人に限定した推移を図7-2に示す。全員の結果を見ると、テレビがつねに140分以上と他を圧倒している。その他のメディアではインターネットの利用時間が増加傾向にあり、2020年以降は特に増加し、ラジオ聴取時間を抜いて2位となっている。本の読書時間、新聞の閲読時間は低迷している。

各メディアの接触者に限定した結果をみると、変わらずテレビは1位でつねに150分以上だが、2023年はラジオがインターネットを逆転して2位となり、つねに100分を超えている。これは、ラジオの聴取者の割合は大きく低下したものの、聴取している者は変わらず長い接触時間を保っていることを表している。本の読書時間、新聞の閲読時間はこちらでも低迷している。

図7-1 1か月間における1日平均のメディア接触時間の経年比較(全員)

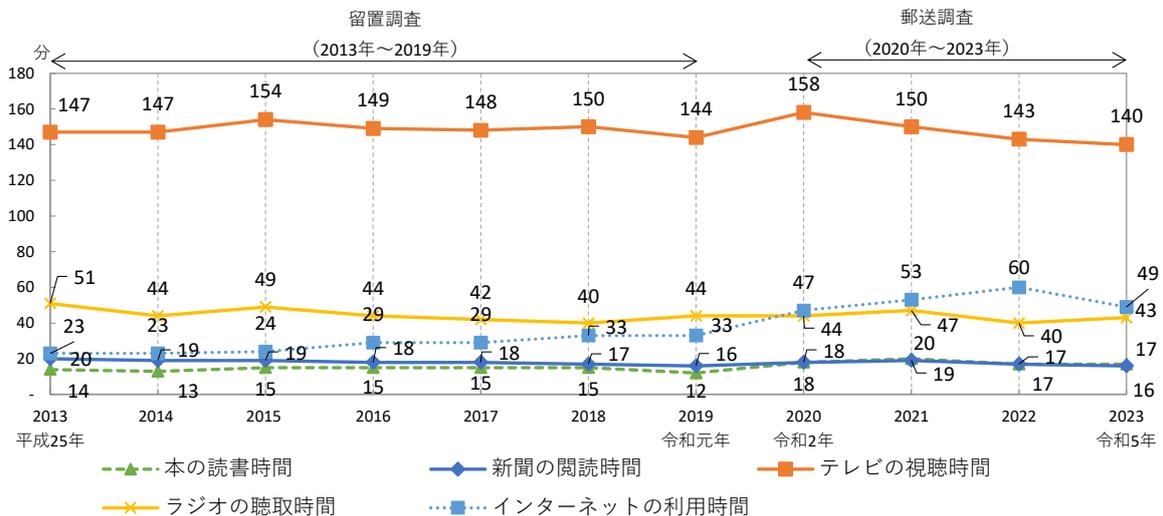
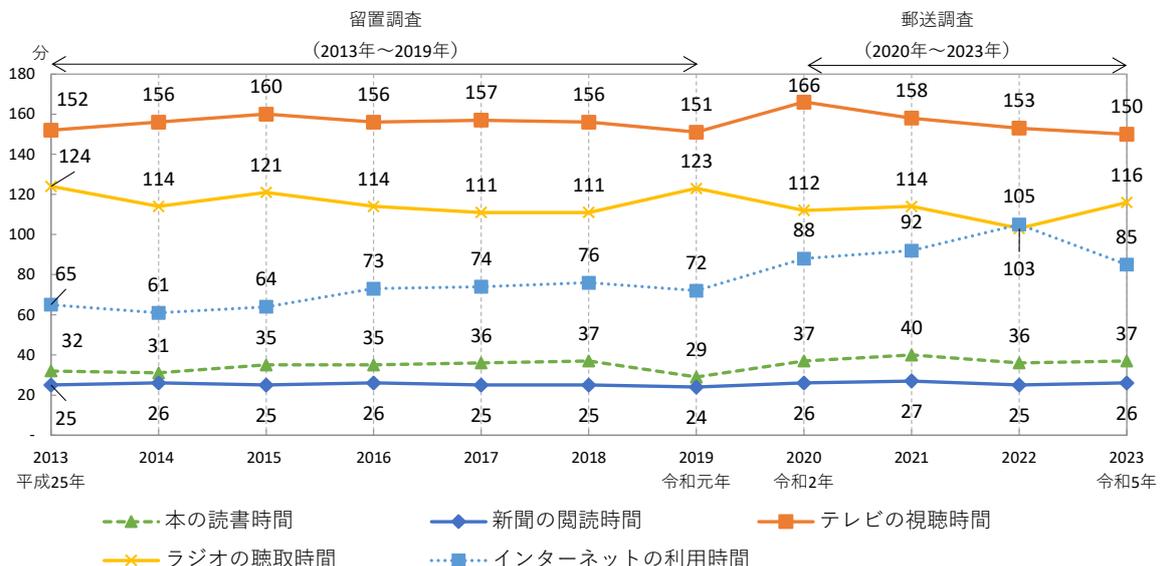


図7-2 1か月間における1日平均のメディア接触時間の経年比較(接触者)



★本の1日平均の読書時間の推移

本（雑誌、書籍）の属性別の1日平均の接触時間の推移を表7-1に、接触者（読んだ人）に限定した推移を表7-2に示す。

男女別では全員・接触者いずれも、特定の傾向は見られない。

年齢別では全員の場合、10代および70代で高くなるが多かった。接触者の場合、10代と70代のほか、60代でも高くなっている。

職業別では全員・接触者いずれも、すべての調査回において無職が高く、給料生活が低くなった。また主婦、自営業、学生も高くなるが多かった。

表7-1 1か月間における1日平均の読書時間

1日平均の本〔雑誌・書籍〕の読書時間(分) <全員>	サンプル数	全体	性別		年齢別							職業別					
			男 性	女 性	16	20	30	40	50	60	70	農 業	給 料 生 活	主 婦	自 営 業	学 生	無 職
					5	5	5	5	5	5	5						
2013年(68回)	847	14	13	15	13	15	12	16	14	14	16	14	13	18	12	16	16
2014年(69回)	867	13	12	15	26	23	10	9	13	14	11	10	13	14	14	23	16
2015年(70回)	838	15	15	14	24	15	17	11	17	11	17	10	13	20	16	23	17
2016年(71回)	863	15	15	16	20	15	12	18	13	15	18	15	14	16	14	26	17
2017年(72回)	878	15	15	15	16	16	15	13	14	17	17	14	13	22	18	19	16
2018年(73回)	852	15	15	14	16	12	10	12	14	16	18	12	12	15	21	16	23
2019年(74回)	841	12	12	12	14	11	13	8	11	14	12	10	10	12	14	17	16
2020年(75回)	824	18	19	18	20	16	13	15	17	18	25	20	15	18	22	19	26
2021年(76回)	816	20	22	18	14	15	12	13	18	21	32	15	18	20	20	14	34
2022年(77回)	836	17	15	18	24	12	11	15	16	16	22	16	14	25	23	21	18
2023年(78回)	761	17	15	19	25	17	11	16	15	16	23	14	13	20	19	28	29

表7-2 1か月間における1日平均の読書時間(接触者〔読んだ人〕)

1日平均の本〔雑誌・書籍〕の読書時間(分) <読んだ人>	サンプル数	全体	性別		年齢別							職業別					
			男 性	女 性	16	20	30	40	50	60	70	農 業	給 料 生 活	主 婦	自 営 業	学 生	無 職
					5	5	5	5	5	5	5						
2013年(68回)	392	32	31	33	32	27	28	29	29	40	36	33	29	44	25	34	39
2014年(69回)	389	31	30	33	39	44	22	28	32	31	33	28	29	31	32	42	42
2015年(70回)	355	35	39	33	41	34	37	24	37	32	48	30	32	39	38	36	46
2016年(71回)	396	35	37	33	57	33	25	34	30	34	49	33	31	38	29	63	48
2017年(72回)	399	36	35	37	36	40	31	31	31	36	52	36	29	51	43	48	38
2018年(73回)	352	37	39	35	32	31	27	27	34	39	60	32	30	40	42	34	62
2019年(74回)	365	29	31	28	36	36	29	20	27	33	32	26	27	30	30	39	38
2020年(75回)	464	37	41	34	35	29	27	36	34	41	45	36	33	35	52	33	50
2021年(76回)	459	40	45	36	22	34	25	30	34	47	55	31	37	41	33	21	66
2022年(77回)	447	36	35	37	37	27	24	33	34	35	50	34	30	47	53	37	42
2023年(78回)	400	37	34	40	58	41	28	30	33	38	45	32	29	43	37	59	56

★新聞の1日平均の閲読時間の推移

新聞の属性別の1日平均の接触時間の推移を表7-3に、接触者（読んだ人）に限定した推移を表7-4に示す。

男女別では全員・接触者いずれも、すべての調査回において男性が女性を上回っている。年齢別では全員・接触者いずれも、ほぼすべての調査回において60代以上で高くなっている。

職業別では全員・接触者いずれも、ほぼすべての調査回において農業、主婦、無職で高くなっている。

表7-3 1か月間における1日平均の新聞閲読時間

1日平均の新聞の閲読時間(分) <全員>	サンプル数	全体	性別		年齢別							職業別					
			男 性	女 性	16	20	30	40	50	60	70	農 業	給 料 生 活	主 婦	自 営 業	学 生	無 職
					19	29	39	49	59	69	79						
2013年(68回)	847	20	21	18	3	6	7	14	21	26	32	26	15	22	19	4	32
2014年(69回)	867	19	22	17	4	4	8	12	19	28	34	26	14	23	26	3	28
2015年(70回)	838	19	20	17	3	6	9	12	18	24	32	25	13	23	17	3	27
2016年(71回)	863	18	21	16	2	4	6	11	16	26	32	27	12	20	20	2	29
2017年(72回)	878	18	21	16	7	4	8	9	16	26	32	28	12	24	19	8	25
2018年(73回)	852	17	18	16	3	3	4	9	13	22	35	23	11	21	21	2	31
2019年(74回)	841	16	18	14	3	3	4	8	14	22	28	22	10	17	18	3	27
2020年(75回)	824	18	20	17	4	2	5	9	14	23	36	27	12	20	16	3	30
2021年(76回)	816	19	21	18	2	4	4	8	17	22	36	25	14	21	19	2	31
2022年(77回)	836	17	20	14	3	3	3	9	12	21	33	27	11	20	17	3	26
2023年(78回)	761	16	19	14	0	3	4	7	10	17	34	23	8	23	18	0	33

表7-4 1か月間における1日平均の新聞閲読時間(接触者〔読んだ人〕)

1日平均の新聞の閲読時間(分) <読んだ人>	サンプル数	全体	性別		年齢別							職業別					
			男 性	女 性	16	20	30	40	50	60	70	農 業	給 料 生 活	主 婦	自 営 業	学 生	無 職
					19	29	39	49	59	69	79						
2013年(68回)	669	25	26	24	7	13	13	16	24	30	39	30	20	28	22	8	37
2014年(69回)	644	26	29	23	15	11	14	17	23	31	42	30	20	28	31	16	38
2015年(70回)	624	25	27	24	10	13	17	15	21	30	37	29	19	32	22	9	33
2016年(71回)	619	26	28	23	10	9	12	18	20	31	39	30	18	28	27	9	37
2017年(72回)	627	25	28	23	24	11	18	15	20	30	36	32	19	27	26	23	32
2018年(73回)	574	25	27	24	11	12	11	17	18	26	40	28	18	28	29	9	40
2019年(74回)	563	24	26	21	16	11	11	14	21	26	34	26	18	23	26	12	37
2020年(75回)	571	26	29	24	11	12	16	16	19	27	39	31	20	27	25	15	40
2021年(76回)	598	27	27	26	10	17	13	13	22	26	39	26	22	29	24	15	38
2022年(77回)	578	25	27	22	16	14	9	16	15	26	37	31	18	25	25	13	34
2023年(78回)	490	26	27	25	6	15	16	14	15	24	38	27	16	33	26	6	45

★テレビの1日平均の視聴時間の推移

テレビの属性別の1日平均の接触時間の推移を表7-5に、接触者（視聴した人）に限定した推移を表7-6に示す。

男女別では全員・接触者いずれも、すべての調査回において女性が男性を上回っている。

年齢別では全員・接触者いずれも、すべての調査回において60代以上で高くなっている。いっぽう、全員の場合に、40代以下では視聴時間は減少傾向にある。特に10代においては、2017年の134分から、直近の2023年では36分と98分減少している。接触者に限定した場合においても、10代では2017年の159分から、2023年では49分と110分減少している。

職業別では全員・接触者いずれも、すべての調査回において主婦、無職で高くなっている。農業も2016年を除き、全員・接触者いずれも高くなっている。

表7-5 1か月間における1日平均のテレビ視聴時間

1日平均のテレビの視聴時間(分) <全員>	サン プル 数	全 体	性別		年齢別						職業別						
			男 性	女 性	16	20	30	40	50	60	70	農 業	給 料 生 活	主 婦	自 営 業	学 生	無 職
					19	29	39	49	59	69	79						
2013年(68回)	847	147	138	157	94	118	104	140	144	177	163	157	127	176	151	87	194
2014年(69回)	867	147	133	161	106	116	111	124	160	157	198	160	124	192	135	103	192
2015年(70回)	838	154	137	168	114	112	132	123	148	173	197	156	131	222	123	103	186
2016年(71回)	863	149	136	161	129	116	113	118	138	172	199	138	120	205	162	122	200
2017年(72回)	878	148	141	154	134	96	121	126	141	170	190	158	125	179	129	125	215
2018年(73回)	852	150	138	161	100	96	131	122	150	168	188	154	131	198	148	88	182
2019年(74回)	841	144	142	145	97	86	113	106	148	168	180	152	119	190	136	81	196
2020年(75回)	824	158	148	165	83	92	110	142	142	192	206	169	133	201	155	80	202
2021年(76回)	816	150	144	154	76	77	95	109	138	174	204	160	127	191	126	68	192
2022年(77回)	836	143	137	148	67	85	90	107	134	171	196	162	120	182	131	72	196
2023年(78回)	761	140	133	145	36	91	96	95	125	168	185	149	116	175	163	49	194

表7-6 1か月間における1日平均のテレビ視聴時間(接触者[視聴した人])

1日平均のテレビの視聴時間(分) <視聴した人>	サン プル 数	全 体	性別		年齢別						職業別						
			男 性	女 性	16	20	30	40	50	60	70	農 業	給 料 生 活	主 婦	自 営 業	学 生	無 職
					19	29	39	49	59	69	79						
2013年(68回)	823	152	143	160	107	128	113	142	147	179	164	159	131	180	154	105	196
2014年(69回)	821	156	143	167	118	130	123	131	164	164	203	163	131	199	157	113	201
2015年(70回)	807	160	144	174	139	120	147	126	152	178	199	161	136	222	132	123	196
2016年(71回)	827	156	143	167	144	128	120	128	143	174	205	139	128	209	167	135	213
2017年(72回)	825	157	152	162	159	118	133	134	147	176	192	162	135	182	146	143	224
2018年(73回)	823	156	144	166	104	96	137	131	153	171	198	158	136	203	150	91	199
2019年(74回)	800	151	151	152	109	99	127	116	150	171	185	154	128	198	141	93	204
2020年(75回)	784	166	160	171	92	104	118	154	147	197	212	173	142	208	161	88	216
2021年(76回)	777	158	151	163	91	88	107	114	151	177	206	162	135	203	135	83	198
2022年(77回)	782	153	149	156	88	113	100	115	141	176	199	168	128	193	137	102	203
2023年(78回)	715	150	142	155	49	111	118	102	131	170	190	157	125	179	173	64	201

★ラジオの1日平均の聴取時間の推移

ラジオの属性別の1日平均の接触時間の推移を表7-7に、接触者（聴取した人）に限定した推移を表7-8に示す。

男女別では全員の場合、2021年を除き男性が女性を上回っている。いっぽう、接触者の場合はたびたび女性が男性を上回っている。これは、そもそものラジオ聴取率に男女差が大きく、聴取者に限定した場合は特定の傾向がないことを表している。

年齢別では全員・接触者いずれも、50代以上で高くなるが多かった。

職業別では全員・接触者いずれも、すべての調査回において農業が高く、自営業がそれに次ぐが多かった。これらの職業では、業務中にラジオを聴取可能な場合もあるため、他の職業に比べ高くなったと考えられる。

表7-7 1か月間における1日平均のラジオ聴取時間

1日平均のラジオの聴取時間(分) <全員>	サンプル数	全体	性別		年齢別							職業別					
			男	女	16	20	30	40	50	60	70	農	給	主	自	学	無
			性	性	歳	歳	歳	歳	歳	歳	歳						
2013年(68回)	847	51	63	40	1	26	32	44	72	59	57	96	36	36	83	3	45
2014年(69回)	867	44	51	38	4	17	34	26	60	66	39	118	27	24	60	3	30
2015年(70回)	838	49	50	47	1	4	18	39	66	64	58	92	29	41	53	1	56
2016年(71回)	863	44	48	41	7	4	41	32	56	52	59	99	30	31	45	8	45
2017年(72回)	878	42	47	38	9	12	25	31	40	61	58	100	26	35	57	4	34
2018年(73回)	852	40	49	33	1	17	25	37	40	49	55	79	24	35	91	3	40
2019年(74回)	841	44	45	44	1	10	32	26	64	54	54	108	28	37	58	3	35
2020年(75回)	824	44	48	40	1	18	20	21	38	70	66	113	23	34	89	2	41
2021年(76回)	816	47	46	48	6	7	21	45	45	66	57	94	23	53	53	11	55
2022年(77回)	836	40	42	38	5	8	27	28	38	42	67	104	20	33	59	5	39
2023年(78回)	761	43	48	40	4	6	11	37	50	46	66	102	25	44	45	3	40

表7-8 1か月間における1日平均のラジオ聴取時間(接触者[聴取した人])

1日平均のラジオの聴取時間(分) <聴取した人>	サンプル数	全体	性別		年齢別							職業別					
			男	女	16	20	30	40	50	60	70	農	給	主	自	学	無
			性	性	歳	歳	歳	歳	歳	歳	歳						
2013年(68回)	362	124	123	124	10	99	97	97	146	130	131	175	88	144	166	37	102
2014年(69回)	350	114	114	113	31	85	85	80	120	144	110	216	70	72	120	24	109
2015年(70回)	340	121	112	130	13	29	89	81	124	150	139	177	77	136	117	13	132
2016年(71回)	351	114	110	118	29	21	122	88	121	119	142	190	82	94	111	28	117
2017年(72回)	347	111	113	109	47	47	87	96	105	119	155	192	74	96	138	35	102
2018年(73回)	321	111	119	101	30	80	91	113	77	120	149	176	70	95	182	33	119
2019年(74回)	318	123	113	135	20	48	125	76	152	129	135	199	81	131	143	40	111
2020年(75回)	367	112	115	110	30	100	83	80	129	141	161	161	67	106	189	35	113
2021年(76回)	376	114	104	123	60	55	70	133	90	126	128	154	65	133	111	75	154
2022年(77回)	362	103	102	104	30	44	100	84	92	93	141	183	56	85	166	27	106
2023年(78回)	318	116	119	113	30	40	71	98	126	117	130	180	78	107	131	30	105

★インターネットの1日平均の利用時間の推移

インターネットの属性別の1日平均の接触時間の推移を表7-9に、接触者（利用した人）に限定した推移を表7-10に示す。

男女別では全員の場合、男性が女性を上回る傾向にある。接触者の場合、2013年から2018年は同様に男性が女性を上回る傾向にあったが、近年その傾向はなくなってきている。

年齢別では全員の場合、すべての調査回で10代から40代で高くなった。接触者の場合、10代から30代で高くなる傾向にある。

職業別では全員の場合、すべての調査回において給料生活と学生が高くなった。いっぽう、接触者では学生のほか、自営業でも高くなるが多かった。

表7-9 1か月間における1日平均のインターネット利用時間

1日平均のインターネットの利用時間(分) <全員>	サン プル 数	全 体	性別		年齢別							職業別					
			男	女	16	20	30	40	50	60	70	農	給	主	自	学	無
			性	性	5	5	5	5	5	5	5						
2013年(68回)	847	23	30	16	69	53	48	34	17	8	2	13	30	17	11	69	13
2014年(69回)	867	23	22	23	56	52	40	34	14	10	3	5	30	17	20	65	15
2015年(70回)	838	24	29	20	73	66	48	35	21	9	3	11	32	18	37	70	10
2016年(71回)	863	29	32	27	87	84	47	43	25	12	3	11	39	24	21	106	14
2017年(72回)	878	29	33	26	88	74	52	45	22	11	4	12	35	22	37	90	12
2018年(73回)	852	33	38	29	64	103	65	47	28	15	6	11	47	24	23	72	17
2019年(74回)	841	33	35	31	83	94	59	38	42	15	4	18	44	18	26	104	15
2020年(75回)	824	47	50	44	117	111	96	57	32	20	13	20	52	36	43	134	41
2021年(76回)	816	53	56	50	161	130	87	77	55	26	14	31	58	50	73	182	25
2022年(77回)	836	60	66	54	168	121	101	78	62	33	16	34	65	45	79	162	32
2023年(78回)	761	49	48	50	76	108	105	75	44	33	14	21	65	33	55	73	29

表7-10 1か月間における1日平均のインターネット利用時間(接触者[利用した人])

1日平均のインターネットの利用時間(分) <利用した人>	サン プル 数	全 体	性別		年齢別							職業別					
			男	女	16	20	30	40	50	60	70	農	給	主	自	学	無
			性	性	5	5	5	5	5	5	5						
2013年(68回)	310	65	73	55	100	69	78	58	53	56	33	66	61	64	49	97	72
2014年(69回)	334	61	57	65	70	79	58	62	48	57	44	36	57	66	69	79	89
2015年(70回)	324	64	69	59	86	89	70	57	52	56	47	56	62	66	83	80	47
2016年(71回)	361	73	80	67	107	99	65	73	62	62	34	55	70	69	59	122	89
2017年(72回)	352	74	78	71	127	108	87	72	53	49	54	54	72	66	90	127	76
2018年(73回)	383	76	77	74	92	131	81	65	56	62	73	51	77	85	63	94	70
2019年(74回)	392	72	72	73	100	110	75	60	74	51	53	66	72	65	60	120	70
2020年(75回)	483	88	87	88	123	125	120	75	60	50	125	66	81	88	75	138	112
2021年(76回)	500	92	91	93	169	162	101	91	82	63	58	69	82	106	113	189	80
2022年(77回)	504	105	107	103	179	147	118	95	96	75	79	95	91	102	126	182	98
2023年(78回)	467	85	78	91	116	119	123	88	63	67	69	61	87	85	92	103	81

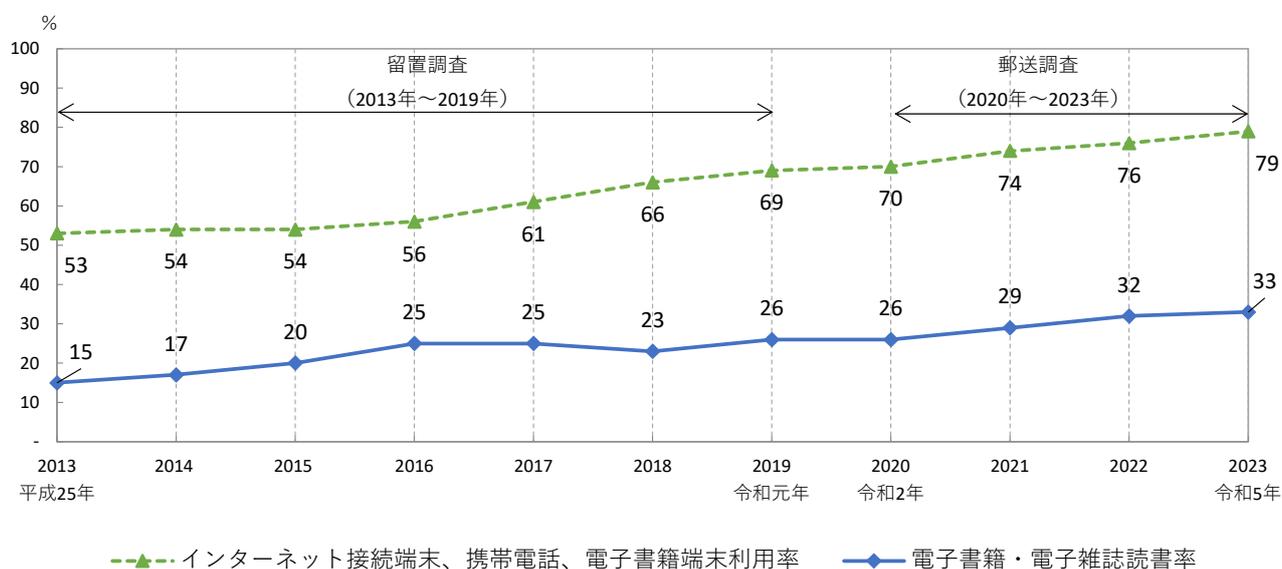
インターネット接続機器の利用、および電子書籍や電子雑誌の読書状況

★インターネット接続機器利用率、電子書籍や電子雑誌読書率の推移

インターネット接続端末、携帯電話、電子書籍端末などの利用率、および電子書籍や電子雑誌などの読書率の推移を図8-1に示す。インターネット接続機器の利用率はつねに増加しており、2013年では53%であったのが2023年には79%と26ポイント増加している。

電子書籍・電子雑誌読書率も増加傾向にあるが、端末利用率よりも増加はゆるやかであり、2013年の15%に対して2023年では33%と、18ポイントの増加にとどまっている。

図8-1 インターネット接続機器利用率、電子書籍・電子雑誌読書率の経年比較



インターネット接続機器利用率について、属性別の結果を**表8-1**に示す。男女別ではほぼすべての調査回において、男性が女性を上回っている。

年齢別ではすべての調査回において10代から40代で高くなった。近年では50代や60代でも徐々に高くなる傾向にある。

職業別ではすべての調査回において給料生活と学生で高くなった。近年では自営業でも高くなっている。

次に、電子書籍・電子雑誌などの読書率について、属性別の結果を**表8-2**に示す。男女別では女性が男性を上回ることが多かった。

年齢別では10代から40代で高い傾向が見られる。

職業別ではすべての調査回において学生で高くなった。また給料生活でも高くなることが多かった。

表8-1 インターネット接続機器利用率の変遷

インターネット接続端末、 携帯電話、電子書籍端末 などの利用率(%)	サ ン プ ル 数	全 体	性別		年齢別							職業別					
			男 性	女 性	16	20	30	40	50	60	70	農 業	給 料 生 活	主 婦	自 営 業	学 生	無 職
					19	29	39	49	59	69	79						
2013年(68回)	847	53	60	45	97	94	86	80	52	30	14	34	71	33	47	97	30
2014年(69回)	867	54	56	52	93	90	85	75	51	34	13	28	71	43	53	94	26
2015年(70回)	838	54	58	51	95	95	89	83	59	28	19	34	73	39	60	96	32
2016年(71回)	863	56	56	56	97	94	90	82	62	34	13	32	77	44	53	94	24
2017年(72回)	878	61	63	59	96	98	88	85	66	41	19	36	76	57	61	96	31
2018年(73回)	852	66	69	64	97	100	96	91	83	52	21	47	83	53	62	100	41
2019年(74回)	841	69	71	67	100	97	94	90	88	56	26	46	88	54	75	100	36
2020年(75回)	824	70	72	69	100	99	91	95	88	64	22	48	87	58	79	100	43
2021年(76回)	816	74	76	71	100	98	98	97	89	66	41	58	91	60	81	100	50
2022年(77回)	836	76	79	74	100	98	99	96	91	73	38	61	89	72	89	100	48
2023年(78回)	761	79	82	78	96	98	97	96	95	84	44	60	93	69	83	97	59

表8-2 電子書籍・電子雑誌読書率の変遷

電子書籍・電子雑誌など の読書率(%)	サ ン プ ル 数	全 体	性別		年齢別							職業別					
			男 性	女 性	16	20	30	40	50	60	70	農 業	給 料 生 活	主 婦	自 営 業	学 生	無 職
					19	29	39	49	59	69	79						
2013年(68回)	446	15	13	16	22	25	20	15	6	6	17	15	16	9	7	24	10
2014年(69回)	465	17	15	19	43	26	13	13	10	17	6	12	17	8	13	42	17
2015年(70回)	456	20	20	20	52	29	28	16	14	15	11	17	20	21	11	54	16
2016年(71回)	484	25	24	27	25	33	33	36	18	9	11	23	25	37	18	27	21
2017年(72回)	534	25	25	24	36	32	33	25	19	19	12	27	23	18	28	57	21
2018年(73回)	566	23	23	24	34	29	35	31	19	10	8	13	25	18	31	33	18
2019年(74回)	581	26	26	27	42	58	36	29	19	14	10	20	29	17	22	46	24
2020年(75回)	580	26	25	27	48	48	44	35	18	6	3	13	28	28	22	44	18
2021年(76回)	601	29	27	30	74	44	50	34	23	14	15	20	30	21	45	69	16
2022年(77回)	639	32	31	32	55	47	43	48	27	17	6	23	37	15	31	55	17
2023年(78回)	604	33	29	36	64	68	48	49	27	17	16	24	37	21	27	67	22

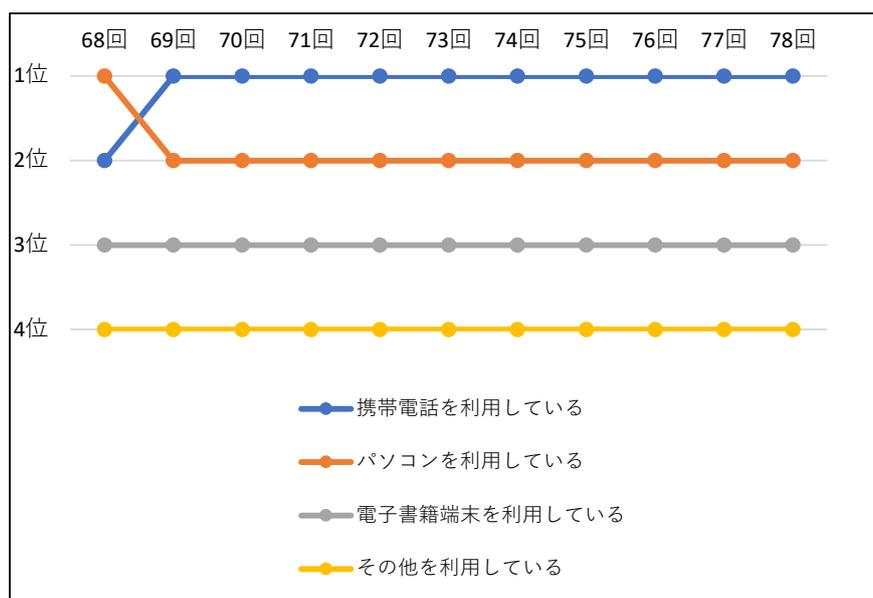
★インターネット接続機器の利用内訳

インターネット接続機器の、端末別の利用内訳の推移を表8-3に、順位の推移を図8-2に示す。「パソコンを利用している」は2013年では1位となったが、その後2023年まで大きな増加も減少も見られなかった。代わって台頭したのは「携帯電話を利用している」であり、2014年以降は継続して1位となっている。利用率も年々増加しており、2013年の35%に対し、2023年では74%と39ポイントも増加している。「電子書籍端末を利用している」もゆるやかな増加傾向が見られ、2018年以降は継続して1割を超えている。

表8-3 インターネット接続機器の利用内訳の変遷

利用端末の内訳(%)	サンプル数	選択肢別			
		携帯電話を利用	パソコンを利用	電子書籍端末を利用	その他を利用
2013年(68回)	847	35	38	3	1
2014年(69回)	867	39	37	3	1
2015年(70回)	838	41	34	4	0
2016年(71回)	863	44	32	5	2
2017年(72回)	878	49	33	6	1
2018年(73回)	852	56	38	10	0
2019年(74回)	841	58	36	11	0
2020年(75回)	824	62	34	14	1
2021年(76回)	816	64	37	13	1
2022年(77回)	836	68	40	13	1
2023年(78回)	761	74	36	13	0

図8-2 インターネット接続機器の利用内訳の順位の変遷



注) 順位については小数点以下の値も考慮している。

★電子書籍や電子雑誌を「読んでいない」人の読書意向

インターネット接続機器を利用していない人、もしくは、インターネット接続機器を利用しているが電子書籍や電子雑誌を「読んだことはない」、「読んだことはあるが今は読んでいない」人の、今後の読書意向の変遷を図8-3に示す。「読んでみたい」は10%程度となっており、大きな変動は見られない。「読んでみたいと思わない」は、郵送調査となった2020年に50%に低下し、以降50%台が続いている。

図8-3 電子書籍や電子雑誌を「読んでいない」人の読書意向の経年比較

